# Prius
# 取扱説明書
## -設置と配線編-

HITACHI
Inspire the Next


パソコンを使えるようにしよう 1
いろいろな使い方をするために 2
技術情報 3


Prius One

マニュアルはよく読み、保管してください。
■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
■このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

# はじめに

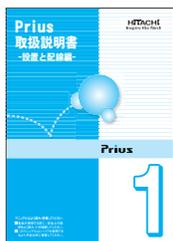
## マニュアルを確かめよう

このたびは日立のシステム装置（以下、パソコン）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
次の内容と各マニュアルの内容をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。

## マニュアルの構成について

このパソコンには、使い始める準備から使いこなすまでの手引き、マニュアルが付いています。
マニュアルには、本書のような紙マニュアルと、画面で見る電子マニュアルがあります。どちらにも役に立つ便利な情報が書かれています。大いに活用して快適なパソコンライフをお楽しみください。

### 紙マニュアル

#### はじめにお読みください - パソコンの準備 -

●『Prius 取扱説明書
設置と配線編』（本書）

同じ内容が
電子マニュアルにも
あります

#### パソコンを使ってみよう！

●『Prius 取扱説明書
パソコン使用編』

同じ内容が
電子マニュアルにも
あります

#### パソコンで困ったときは！

●『Prius 取扱説明書
サポート＆サービス編』

#### 動画機能を使ってみよう！

●『Prius 取扱説明書
エンターテインメント編』

テレビ機能付き
モデルにのみ、
紙マニュアルが
添付されています

#### 機能を一覧して見てみよう！

●『Prius 製品仕様』

## 電子マニュアル

マニュアルの情報は電子マニュアルにあり、必要な情報を画面ですばやく探すことができます。

### パソコンの接続を確かめるなら

### はじめてパソコンに触るなら

### インターネット・メールを始めるなら

### もっとパソコンを使うなら

### パソコンとソフトの概要を知るなら

### アプリケーションを楽しむなら

### テレビを見たり DVD を楽しむなら

# 電子マニュアルを開こう

電子マニュアルは、このパソコンのマニュアルを画面で読めるようにしたものです。
パソコンが使える状態になったら、電子マニュアルを開いてみましょう。

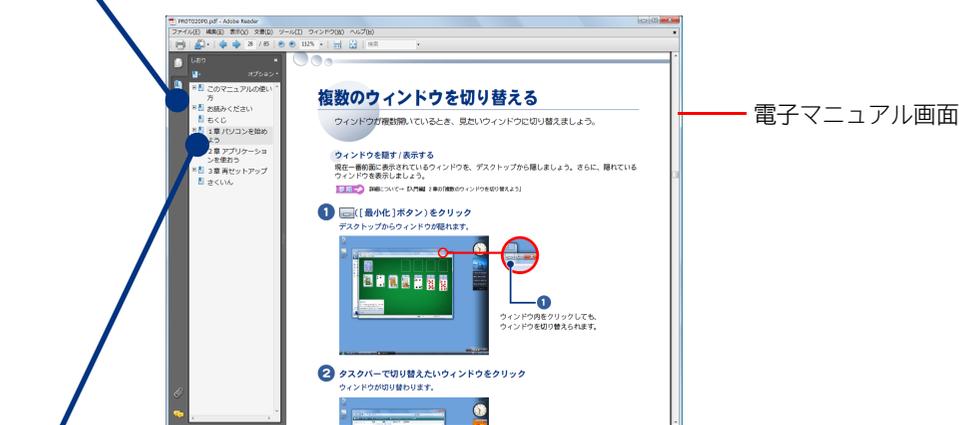
## 電子マニュアルを開くには

### 画面左上（デスクトップ）のアイコンをダブルクリックして

❶ を電子マニュアル名の上に重ねる

❷ クリックする

Prius 取扱説明書 活用百科

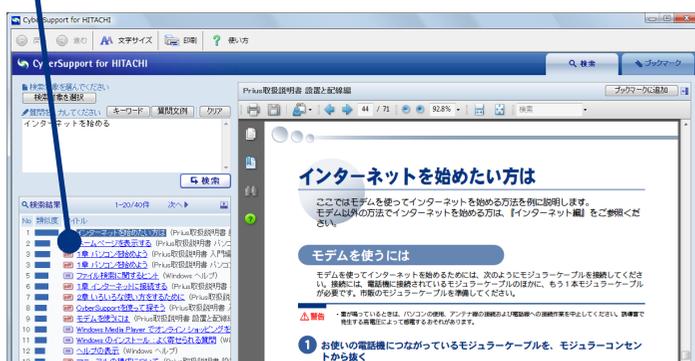
❸ ＋をクリックして－にして、下の項目を表示する

電子マニュアル画面

❹ で項目を選びクリックし、電子マニュアルを読む

## 電子マニュアルの内容を検索するには

1. デスクトップの をダブルクリックする

2. 知りたい内容を入力し、検索をクリック

3. 読みたい項目をクリック

重要
- Adobe Reader で表示中の文書ファイルは、CyberSupport で検索すると正しく表示されません。Adobe Reader を終了し、再度 CyberSupport で検索・表示してください。

# お使いになる前に

## マニュアルの表記について

| | |
|---|---|
| 重要 | 重要事項や使用上の制限事項を示します。 |
| ヒント | パソコンを活用するためのヒントやアドバイス、パソコンの用語を解説します。 |
| 参照 | 参照先を示します。 |
| CD/DVD ドライブ | DVD スーパーマルチドライブなどの光学式ディスクドライブを表記します。 |
| HDD | ハードディスクドライブを表記します。 |
| FDD | フロッピーディスクドライブを表記します。 |
| FD | フロッピーディスクを表記します。 |
| Windows、Windows Vista | Microsoft® Windows Vista™ Home Premium または、<br>Microsoft® Windows Vista™ Home Basic を表記します。 |
| 17 型モデル | 17 型液晶ディスプレイが搭載されているモデルを表記します。 |
| 20.1 型モデル | 20.1 型液晶ディスプレイが搭載されているモデルを表記します。 |
| 【地デジ】 | 地上デジタルテレビ放送専用の操作を説明します。 |

・マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。モデルによっては異なる場合があります。説明の都合で画面のアイコンやイラストのケーブルなど、省略している場合があります。
・URL、お問い合わせ先、画面などは、マニュアル作成時のものです。

## 保証書について

・保証書は、所定事項が記入されたものをお受け取りになり、大切に保管しておいてください。
・保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて無料で修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
・保証期間終了後の修理については、Prius 集中修理センターにご相談ください。詳しくは、『サポート & サービス編』 3 章 の「パソコンのサポートについて」をご参照ください。

## 重要なお知らせ

・本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
・本書の内容について将来予告なしに変更することがあります。
・本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
・本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# パソコンを安全にお使いいただくために

## 安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
- **操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。**
- **装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。**

これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

## シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。

これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。

これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。

これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

注意

これは、装置の重大な損傷、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

【表記例1】感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。

【表記例2】分解禁止

⃠の図記号は行ってはいけないことを示し、⃠の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。

【表記例3】電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

## 操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡ください。

## 自分自身でもご注意を

装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

## 設置時のご注意

### ⚠警告

**日本国以外での使用**

本パソコンは日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより、国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており本パソコンは適合していません。

**使用する電源**

使用できる電源は交流 100V です。それ以外の電圧では使用しないでください。電圧の大きさに従って内部が破損したり過熱・劣化して感電や火災の原因になります。

**タコ足配線**

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。

**湿気やほこりの多い場所での使用**

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりや油煙の多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

**ほこりの除去について**

・ほこりの多い場所では使用しないでください。本体内部にほこりが溜まることによって、精密部分の冷却を妨げ、故障ややけどの原因になります。
・パソコンの周囲は、ほこりを吸わないようにこまめに清掃してください。パソコンの冷却用ファンユニットが目詰まりをおこし、過熱、発煙や故障の原因になります。

**医用電気機器の近くでの使用**

医療機関の屋内にいるときは、医療機関側が使用を認めた区域以外では、電源を切ってください。また医用電気機器を使用している家庭内で、医用電気機器の近くでは電源を切ることをお勧めします。

**周辺機器の増設や接続**

周辺機器を増設・接続するときは、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類をパソコンから外してください。また、マニュアルの説明に従い、マニュアルで使用できることが明記された周辺機器を使用してください。それ以外の周辺機器を使用すると、接続仕様の違いによる周辺機器やパソコンの故障から発煙、発火、火災や故障の原因になります。

**パソコンの移動について**

パソコンを移動させるときは、パソコン本体を持って移動してください。パソコンスタンドを持って移動させると、パソコン本体からパソコンスタンドが外れ、けがや故障の原因になります。

**メモリーボードカバーの取り外し**

メモリーボードカバーを取り外すときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類をパソコンから外してから行ってください。パソコンの電源を切っても、一部の回路には通電しているため、思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。

**アース線について**

感電防止のため、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと万一の漏電時に感電の原因になります。
・接地作業は本体の電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
・アース線は添付したもの以外は使用しないでください。
・アース線は確実に接地がとれる箇所に接続してください。ガス管などへは危険なため、絶対に接続しないでください。

**梱包用ポリ袋について**

パソコンの梱包用エアーキャップなどのポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。

## ⚠注意

**信号ケーブルについて**

- ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。足をひっかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。
- ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。

**不安定な場所での使用**

傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

# 使用前のご注意

## ⚠警告

**温度差のある場所への移動**

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因になります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

**電源コードの取り扱い**

電源コードは必ず付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱いください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したりショートや一部断線で、過熱して感電や火災の原因になります。

- ものを載せない
- 引っ張らない
- 押しつけない
- 折り曲げない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない
- 束ねない
- ほかのパソコンに使用しない

# 使用時のご注意

## ⚠警告

**異常な熱さ、煙、異常音、異臭**

万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りにはものを置かないでください。

**揮発性液体の近くでの使用**

マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、パソコンの近くで使わないでください。パソコンの中に入って引火すると火災の原因になります。

**心臓ペースメーカーを装着時の使用**
キーボードとマウスがワイヤレスで通信しています。電波によりペースメーカーの動作に悪影響を与えるおそれがあります。心臓ペースメーカーの装着部分から22cm以上離してご使用ください。

**電話線またはテレビアンテナ線への接続と使用**
雷が鳴っているときは、パソコンの使用、テレビアンテナ線の接続および電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

**通気孔について**
通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。

・通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。
・本体背面にものを置いたり、立てかけたりしないでください。本体内部への通気が損なわれ、発煙、発火ややけどなどの原因になります。

## ⚠注意

**小さなお子様などの使用時**
小さなお子様などがお使いになるときは、必ず大人の方の見守りが必要です。トレイやパネルに指を挟んだりして、けがの原因になります。

**眼精疲労について**
ディスプレイを見る作業を行うときは、作業場を300～1000ルクスの明るさにしてください。また、連続作業するときは、1時間に10分から15分程度の休息をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

**ヘッドホンやイヤホン**
ヘッドホンやイヤホン使用時は、適度な音量でご使用ください。音量が大きすぎると難聴になるおそれがあります。

**光デジタルオーディオ出力端子について**
光デジタルオーディオ出力端子からの信号ケーブル先端部の赤い光を長時間見続けないでください。眼を痛める原因になります。

**光学式マウスについて**
マウスの底面から発せられる赤い光を直接見ると、眼を痛める場合があります。赤い光を直接見ないでください。

# 保管時のご注意

## ⚠警告

**電池の取り扱い**
電池は次のことに注意してお取り扱いください。取り扱いを誤ると、液漏れ、過熱・破裂・発火し、火災やけがの原因になります。

・電池の＋、－を正しく入れる
・火の中に入れない
・ショートさせたり、分解、加熱しない
・指定以外の電池は使用しない
・電池の＋、－部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
・電池を金属製のピンセットなどでつかまない

**パソコンの電源OFFについて**
パソコンの電源を切っても、一部の回路には通電しています。休暇や旅行などで長時間ご使用にならないときは、必ずの電源プラグを抜いてください。万一、部品破損時には火災の原因になります。

**電池の廃棄**
取り外した電池を廃棄するときは、お買い求め先に相談していただくか、地方自治体の条例または規則に従ってください。

**電池の保管**

- 電池を保管する場合は、端子に絶縁テープをはり、絶縁状態にしてください。絶縁状態にしないで電池を保管すると、端子間どうしが接触ショートし過熱・破裂・発火などでけがをしたり、火災の原因になります。
- 電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、気道を確保しながら直ちに医師にご相談ください。

## ⚠注意

**乾電池の使用について**

リモコンやワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスを長期間使用しないときは、電池を取り外してください。取り外さないと、液漏れによりやけどをしたり、リモコンやワイヤレスキーボード、マウスが故障するおそれがあります。

# 作業時のご注意

## ⚠警告

**モデム部分への接触**

メモリーボードカバーを開けるときは、モジュラーケーブル（電話線）を抜いてください。呼び出し（ベル）着信時および雷が鳴っているとき感電するおそれがあります。

**メモリーボードカバーについて**

作業終了後は、必ずメモリーボードカバーを取り付けてください。万が一の部品破損時、発煙、発火、火災の原因になります。

**電話線またはテレビアンテナ線への接続と使用**

雷が鳴っているときは、パソコンの使用、テレビアンテナ線の接続および電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

## ⚠注意

**部品の追加・交換**
電源を切った直後は、カバーや内部の部品が熱くなっています。約 30 分、時間をおいてから行ってください。やけどの原因になります。

**金属など端面への接触**
パソコンの移動、部品の追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。

## 注意

**ボードの取り扱いについて**
ボードを取り扱う場合は、静電気をあらかじめ取り除くか、綿手袋などを着用してください。静電気を取り除かないで、コネクター部などの電気部品に触れると壊れるおそれがあります。

**LAN コネクターについて**
LAN コネクターには、LAN ケーブルを接続してください。LAN ケーブル以外のケーブルを接続すると、故障するおそれがあります。

# 一般的なご注意

## ⚠警告

**修理・改造・分解**
本書の指示に従って行うオプションなどの増設作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。
特に電源ユニット内部は高電圧部が数多くあり、万一さわると危険です。

**装置内部への異物の混入**
通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

**落下などによる衝撃**
落下させたり、ぶつけるなど過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

**装置上に物を置く**
花びん、植木鉢など水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、発火の原因になります。

**メモリーボードカバーの取り外し**
メモリーボードカバーを取り外すときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類やカード類をパソコンから外してから行ってください。パソコンの電源を切っても、一部の回路には通電しているため、思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。

**電源プラグの接触不良やトラッキング**

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

・電源プラグは、根元までしっかり差し込む
・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込む。付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから、差し込む
・ぐらぐらしないコンセントを使用する

**電源スイッチについて**

電源スイッチを OFF にしても、一部の回路には通電されています。休暇や旅行など長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。万一、部品破損時には発煙・発火の原因になります。

**電源プラグの抜き差し**

・電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
・休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
・電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

## ⚠注意

**接続端子への接触**

USB コネクターなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙したり接触不良などにより故障の原因になります。

**目的以外の使用**

踏み台やブックエンドなど、パソコン本来の目的以外に使用しないでください。壊れたり、倒れたりし、けがや故障の原因になります。

**液晶ディスプレイ部の破損**

液晶ディスプレイ部はガラスでできています。液晶ディスプレイ部が破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。

## 注意

**バックアップについて**

ハードディスク装置のデータなどの重要な内容は必ず補助記憶装置にバックアップを取ってください。ハードディスク装置が壊れると、データなどがすべてなくなってしまいます。

**モジュラーケーブルの接続について**

モジュラーケーブルは、2 線式をご使用ください。故障の原因になります。2 線式以外のケーブルの使用により発生した不具合については保証いたしません。

## その他のご注意

### 注意

**パソコンの廃棄**

本製品を廃棄する場合は、適切なリサイクル処理をお願いします。
「資源の有効な利用の促進に関する法律 ( 通称：改正リサイクル法 ) 」にもとづき、パソコン製造事業者である弊社は、お客さまのご依頼にもとづく事業者（法人所有）向けのパソコンの回収リサイクルサービスと、ご家庭（個人所有）向けの回収リサイクルサービスを提供しています。当該サービスでは回収リサイクルの効果を向上させるなど、法律の趣旨に的確に対応していますので、ご利用ください。

**電波障害について**

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。
その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- コンセントを別にする

# もくじ

## はじめに


**マニュアルを確かめよう**

マニュアルの構成について
電子マニュアルを開こう . . . . . . . . . . 2

**お使いになる前に. . . . . . . . . . 4**

マニュアルの表記について . . . . . . . . . . 4
保証書について. . . . . . . . . . 4
重要なお知らせ. . . . . . . . . . 4

**パソコンを安全にお使いいただくために. . . . . . . . . . 5**

**もくじ. . . . . . . . . . 13**


## 1 章 パソコンを使えるようにしよう


**同梱品を確かめよう . . . . . . . . . . 18**

同梱品一覧表で確認しよう . . . . . . . . . . 18
保証書を確認しよう. . . . . . . . . . 19

**各部の名前を知っておこう . . . . . . . . . . 20**

パソコン正面. . . . . . . . . . 20
パソコン側面. . . . . . . . . . 22
キーボード . . . . . . . . . . 23
ワイヤレスマウス. . . . . . . . . . 26
リモコン . . . . . . . . . . 27

**接続しよう. . . . . . . . . . 30**

置き場所や姿勢について . . . . . . . . . . 30
接続しよう . . . . . . . . . . 31
キーボードに電池を入れよう . . . . . . . . . . 32
マウスに電池を入れよう . . . . . . . . . . 32
リモコンに電池を入れよう . . . . . . . . . . 33
キーボード、マウス、リモコンの使用について . . . . . . . . . . 34
パソコンを接続しよう. . . . . . . . . . 35

**電源を入れよう. . . . . . . . . . 37**

電源を入れよう ........ 37
キーボードとマウスを登録しよう ........ 38

## 2章 いろいろな使い方をするために

**インターネットを始めたい方は ........ 42**
モデムを使うには ........ 42
**テレビを見たい方は ........ 44**
アンテナ線と接続する ........ 44
パソコンにアンテナを接続する ........ 46
B-CAS カードを取り付ける【地デジ】........ 47
電話回線をモデムに接続する【地デジ】........ 48
**ほかの周辺機器を使うときは ........ 49**
外部機器の映像をディスプレイに表示するには ........ 50
**ディスクを使うときは ........ 52**
CD/DVD ドライブのディスクの入れ方 / 取り出し方 ........ 52
FD の入れ方 / 取り出し方 ........ 53
**サイドカバーを取り外すときは ........ 55**
サイドカバーの取り外し方法 ........ 55
**メモリーボードを取り付ける ........ 56**
作業時の注意点 ........ 56
メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた ........ 56
取り付け手順 ........ 57
取り外し手順 ........ 58

## 3章 技術情報

**ドライブの仕様 ........ 60**
DVD スーパーマルチドライブ(DVD ± R 2 層書き込み対応 ) の仕様 . 60
**メモリーボードの仕様 ........ 63**
**有寿命部品一覧 ........ 64**
**オプション情報 ........ 65**

1

# 1章 パソコンを使えるようにしよう

この章では、パソコンを使えるようにするための準備やパソコン各部の名前、働きについて説明します。

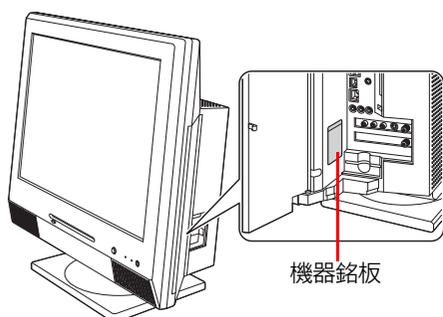
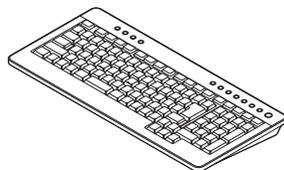

>>・同梱品を確かめよう (P.18)
>>・各部の名前を知っておこう (P.20)
>>・接続しよう (P.30)
>>・電源を入れよう (P.37)

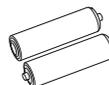
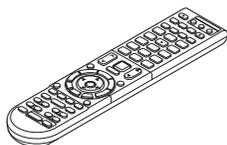
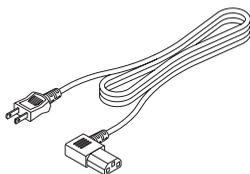
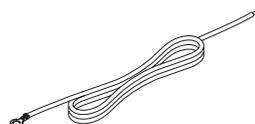
# 同梱品を確かめよう

箱を開けたら、箱の中に入っている同梱品がすべてそろっていることを『同梱品一覧表』で確認しましょう。万一不足があるときは、安心コールセンターにお問い合わせください。

## 同梱品一覧表で確認しよう

### 17 型モデルの場合

★パソコン

★ワイヤレスキーボード

★ワイヤレスマウス

★単３形アルカリ乾電池　※
(6 個、リモコン、
キーボード、マウス用 )

★リモコン　※

★電源コード

★アース線

★ B-CAS カード　※

★ 8 cmディスクアダプター

**ヒント**

● パソコンの形名を確認するには

パソコン側面のサイドカバー内にある機器銘板に、形名や製造番号が記載されています。

● テレビチューナー未搭載の場合 ( ※マークのあるもの )

リモコン、B-CAS カードは同梱されていません。また、単 3 形アルカリ乾電池は 4 個同梱されています。

## 20.1 型モデルの場合

ヒント ● パソコンの形名を確認するには

パソコン側面のサイドカバー内にある機器銘板に、形名や製造番号が記載されています。

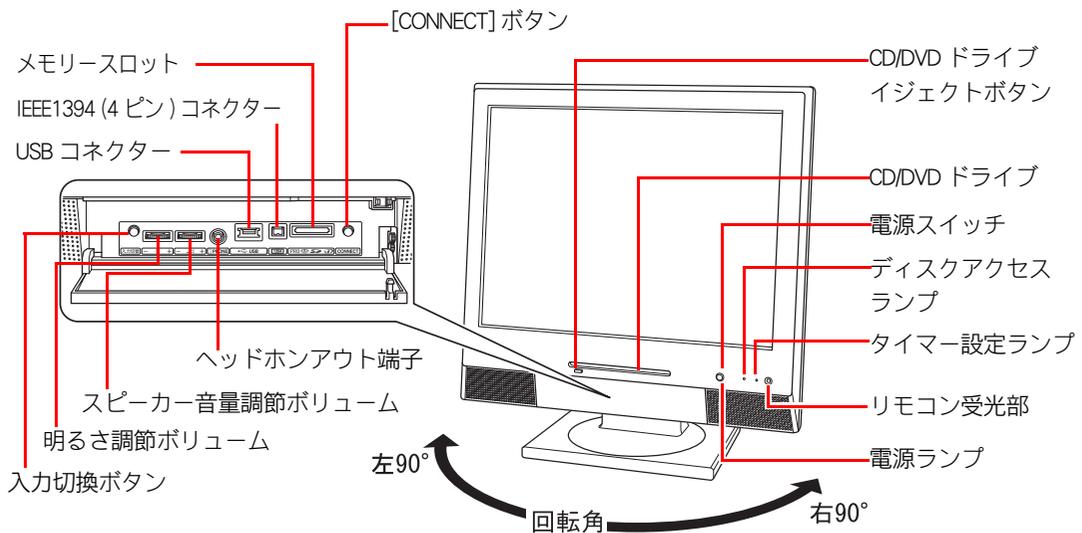
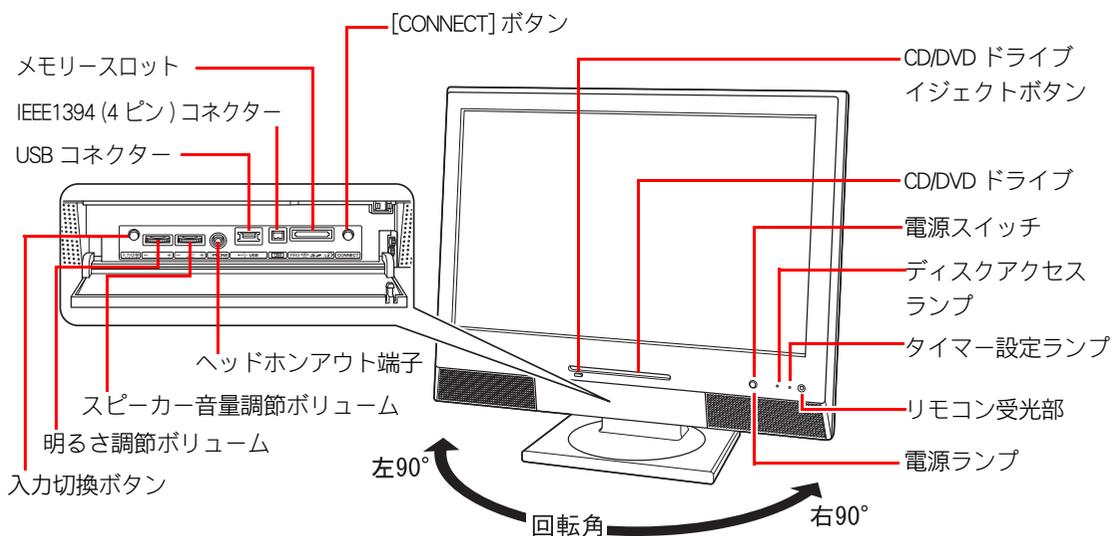
# 保証書を確認しよう

## 保証書

保証書は、パソコンの箱にはり付けてあります。大切に保管してください。
パソコンの製造番号と保証書の番号が、同じであることをご確認ください。万一違う場合は、すぐに安心コールセンターにお問い合わせください。

# 各部の名前を知っておこう

## パソコン正面

### 17 型モデルの場合

### 20.1 型モデルの場合

## 電源ランプ

ランプの発色でパソコンの動作状態を確認できます。

| パソコンの状態 | 電源ランプの状態 | 備 考 |
|---|---|---|
| PowerOFF 時または、休止状態 | オレンジ色に点灯 | パソコンの電源が切れている（電源コードがコンセントに差し込まれている） |
| PowerON 時 | 緑色に点灯 | パソコンが起動している |
| スリープ時 | オレンジ色に点滅 | 節電機能が働いている |
| 電源 OFF 時 | 消灯 | 電源コードが外れている |
| エコ・ポン・パッ TV モード | 黄緑色に点灯 | エコ・ポン・パッの TV モード（地デジ全画面）で起動している |
| エコ・ポン・パッ PC モード | 黄緑色に点滅 | エコ・ポン・パッの PC モード（地デジ全画面）で起動している |

ヒント
- ［エコ・ポン・パッ］は、地上デジタルチューナーボード搭載機種で動作します。それ以外の機種では動作しません。
- 電源ランプは、角度によっては見えにくい場合があります。

## タイマー設定ランプ

ランプの発色で録画予約の状態を確認できます。

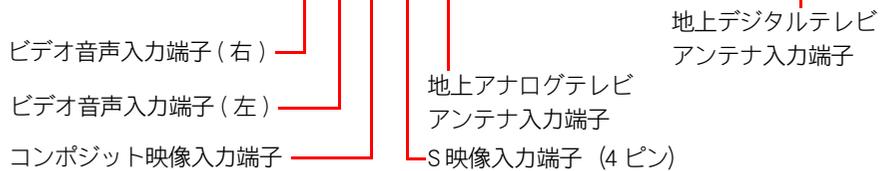
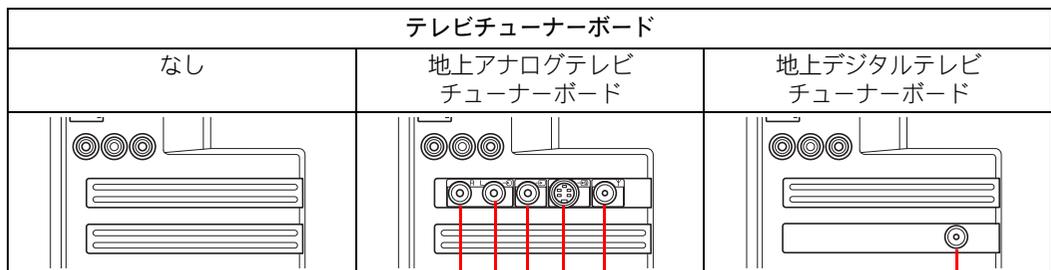
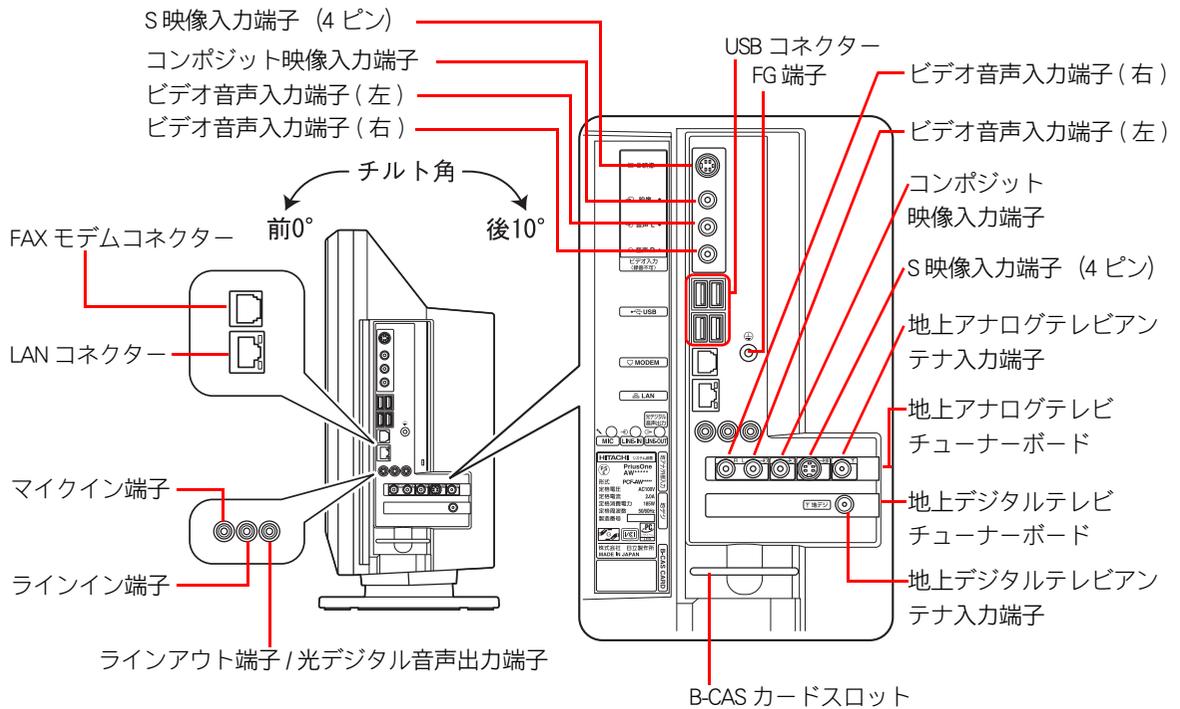
| パソコンの状態 | タイマー設定ランプの状態 | 備 考 |
|---|---|---|
| 録画予約中 | 赤色に点灯 | 録画予約が設定されている |
| 予約録画中 | 赤色に点滅 | 予約した番組を録画している |
| 録画予約なし | 消灯 | 録画予約が設定されていない |

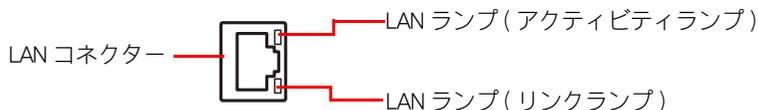
## ディスクアクセスランプ

ランプの発色で HDD や CD/DVD ドライブの動作状態を確認できます。

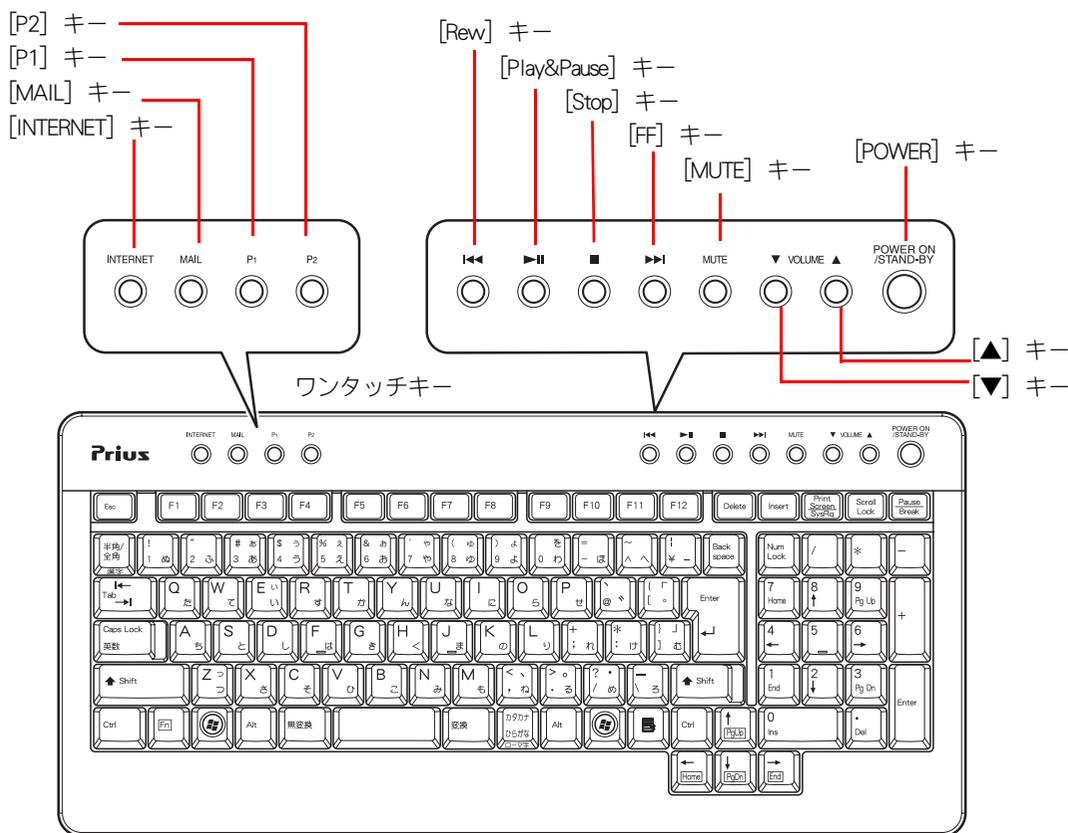
| パソコンの状態 | ディスクアクセスランプの状態 | 備 考 |
|---|---|---|
| HDD アクセス時 | 緑色に点滅 | HDD がデータの読み書きをしている |
| CD/DVD ドライブアクセス時 | | CD/DVD ドライブがデータの読み書きをしている |

# パソコン側面

S映像入力端子（4ピン）
コンポジット映像入力端子
ビデオ音声入力端子（左）
ビデオ音声入力端子（右）
チルト角
前0°
後10°
FAXモデムコネクター
LANコネクター
マイクイン端子
ラインイン端子
ラインアウト端子/光デジタル音声出力端子
USBコネクター
FG端子
ビデオ音声入力端子（右）
ビデオ音声入力端子（左）
コンポジット
映像入力端子
S映像入力端子（4ピン）
地上アナログテレビアン
テナ入力端子
地上アナログテレビ
チューナーボード
地上デジタルテレビ
チューナーボード
地上デジタルテレビアン
テナ入力端子
B-CASカードスロット

ヒント
- 機種により、テレビチューナーボードの位置が異なります。
- B-CASカードスロットは、地上デジタルチューナーボード搭載機種に実装されます。

## LAN ランプ

| ランプ | 点灯状態 | 通信の状態 |
|---|---|---|
| アクティビティランプ | オレンジ色点灯・点滅 | データ送受信中 |
| | 消灯 | データ送受信を行っていない/リンクが確定していない |
| リンクランプ | 緑色点灯 | 100Mbps 接続中 |
| | 消灯 | 10Mbps 接続中 |

# キーボード

[P2] キー
[P1] キー
[MAIL] キー
[INTERNET] キー
[Rew] キー
[Play&Pause] キー
[Stop] キー
[FF] キー
[MUTE] キー
[POWER] キー
[▲] キー
[▼] キー
ワンタッチキー

## [Num Lock] インジケータ

点灯:[Num Lock] キーを押すと、切り替えられます。
　　　キーボードのテンキーの数字などが入力できます。
消灯:[ ↑ ]、[ ↓ ]、[ ← ]、[ → ] キーなどが入力できます。

## [Caps Lock]インジケータ

[Shift] キーを押しながら[Caps Lock]キーを押すと、切り替えられます。
点灯：大文字のアルファベットが入力できます。
消灯：小文字のアルファベットが入力できます。

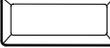
## [Scroll Lock]インジケータ

[Scroll Lock]キーを押すと切り替えられます。ランプが点灯しているときは、表示画面を移動できません。ランプが消灯すると移動できるようになります。ソフトウェアによって動作が異なる場合があります。

ヒント ●「Num Lock」「Caps Lock」「Scroll Lock」のインジケータは画面に表示されます。

参照 インジケータの画面表示について→『パソコン応用編』 1章の「ワンタッチキーを設定する」

| キー | 使い方 |
|---|---|
| テンキー | 数字を入力するときに使います。 |
| F1 ～ F12 | ファンクションキーといいます。アプリケーションソフトなどで、特定の機能を割り当てて使います。 |
| ↑ ↓ ← → | カーソルキーといいます。カーソルをキーの矢印の方向に動かすときに使います。 |
| Ctrl Alt Fn Shift | ほかのキーと組み合わせて使います。 |
| 文字キー | 文字を入力するときに使います。 |
| Backspace | カーソルの前（左）の文字を削除するときに使います。 |
| Delete | カーソルの後ろ（右）の文字を削除するときに使います。 |
| Insert | 文字の入力方法を、挿入モードか上書きモードに切り替えます。 |
| Enter | 日本語入力の確定や改行などに使います。 |
| Esc | 操作を取り消したりするときに使います。 |
| Tab | タブを挿入するときなどに使います。 |
| Caps Lock | [Shift] キーを押しながらこのキーを押すと、標準では英大文字の入力モードになります。 |
| Num Lock | テンキーで数字を入力するモードに切り替えます。 |
| Scroll Lock | 画面表示の制御に使います。 |

| キー | 使い方 |
| --- | --- |
| 変換（次候補） | 日本語入力で読みを漢字に変換します。 |
| 半角 / 全角 | 日本語入力をオン / オフするときに使います。 |
| 無変換 | 日本語入力のときに、無変換モードにします。 |
| （スペース） | 1 文字分のスペース（空白）を入力したり、読みを漢字に変換するときに使います。 |
| Home | カーソルを行の先頭に移動するときに使います。 |
| End | カーソルを行の末尾に移動するときに使います。 |
| Pg Up Pg Dn | ページをスクロールするときに使います。 |

ヒント ● Home 、End 、Pg Up 、Pg Dn は、［Fn］キーを押しながら［←］、［→］、［↑］、［↓］キーを押します。

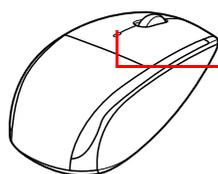
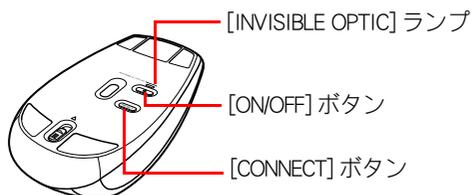
| キー | 使い方 |
| --- | --- |
|  | [Windows] キーといいます。スタートメニューを表示させるときに使います。 |
|  | [ プログラム ] キーといいます。マウスを右クリックしたときと同じ働きをします。 |
| (Stop) | DVD-ROM や CD-ROM などの再生を停止するときに使います。 |
| (Play&Pause) | DVD-ROM や CD-ROM などを再生したり、一時停止するときに使います。 |
| (Rew) | DVD-ROM や CD-ROM などの再生時に前のトラックに戻すときに使います。 |
| (FF) | DVD-ROM や CD-ROM などの再生時に次のトラックへ進めるときに使います。 |
| (VOLUME) | スピーカーの音量を下げるときに使います。 |
| (MUTE) | スピーカーの音を消したり元に戻すときに使います。 |
| (VOLUME) | スピーカーの音量を上げるときに使います。 |

| キー | 使い方 |
| --- | --- |
| ◯ (INTERNET) | インターネットをワンタッチで起動するときに使います。 |
| ◯ (MAIL) | メールソフトをワンタッチで起動するときに使います。 |
| ◯ (POWER) | パソコンの電源を入れたり切ったりできます。 |
| P1 ～ P2 | 各キーに割り当てられているアプリケーションをワンタッチで起動するときに使います。 |

参照 キーボードの使い方について→『入門編』 1章の「キーボードを使おう」

参照 ワンタッチキーの設定変更について→『パソコン応用編』 1章の「ワンタッチキーを設定する」

ヒント ● 電源コードを接続した直後は、キーボードの[POWER]キーまたは、リモコンの[電源]ボタンから起動できません。一度Windowsを起動し、Windowsを終了して電源を切ってください。キーボードの[POWER]キーまたは、リモコンの[電源]ボタンから起動することができます。

# ワイヤレスマウス

## [ON/OFF]ボタン

1秒以上押すと、ワイヤレスマウスの電源を入れたり切ったりできます。

## [CONNECT]ボタン

ワイヤレスマウスの無線信号をパソコンで正しく認識できるように登録するときに使います。

## [INVISIBLE OPTIC]ランプ

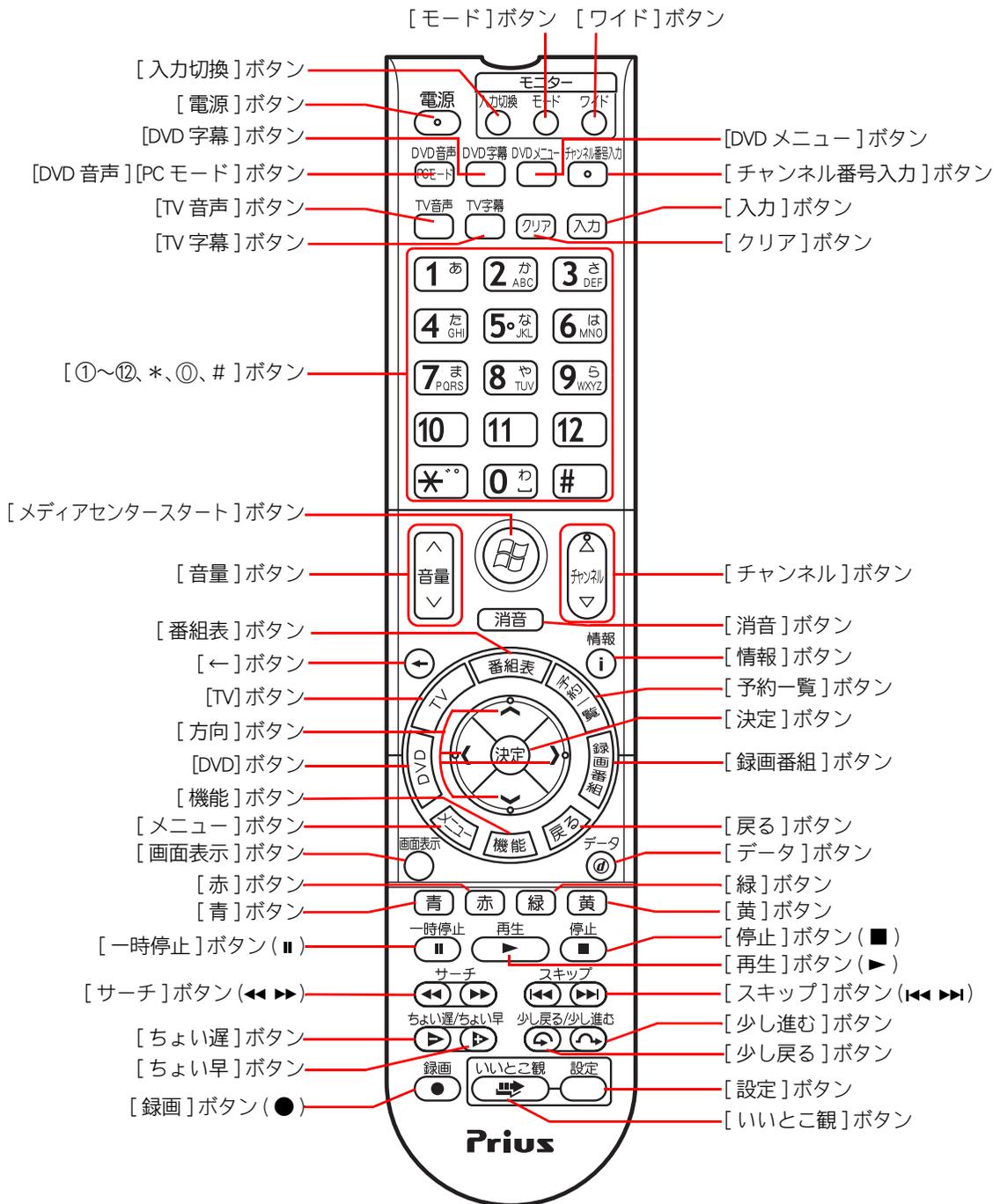
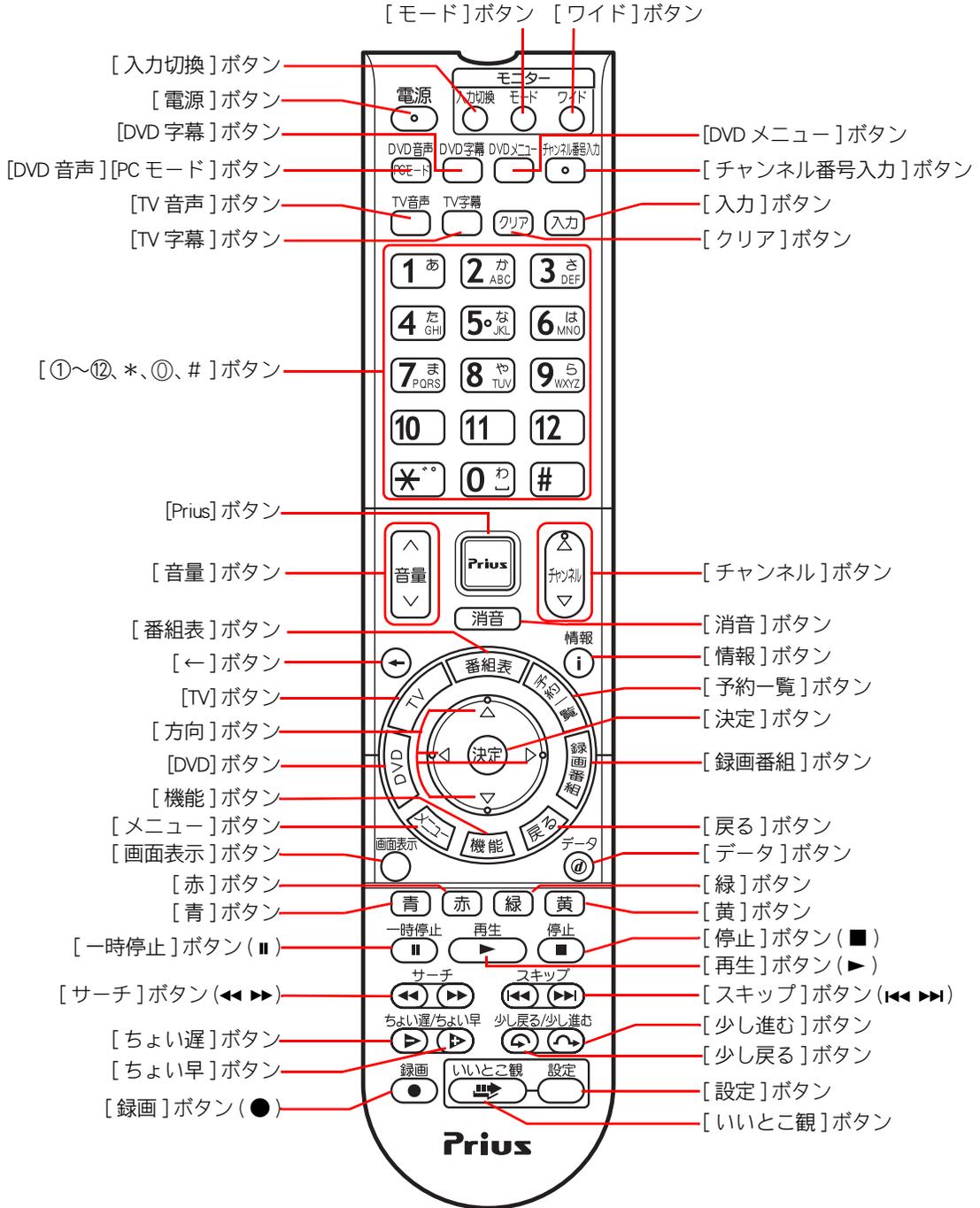
緑色点灯：使用可能な状態です。
　　　　　マウスを裏返した場合や[ON/OFF]ボタンでONした場合に約20秒間点灯し、消灯します。
緑色点滅：ワイヤレスマウスを登録中です。登録を完了すると、約2秒間点灯します。

## ワイヤレスマウス電池残容量ランプ

緑色点灯：電池残容量が十分にあります。
　　　　　電池を入れた場合や[ON/OFF]ボタンでONした場合に約10秒間点灯し、消灯します。
赤色点滅：電池残容量が少なくなっています。電池を交換してください。

参照 マウスの使い方について→『入門編』 1章の「マウスを使おう」

# リモコン

## リモコン（Windows Vista Home Premium 用）

## リモコン（Windows Vista Home Basic 用）

ヒント ● 機種によってはリモコンは添付されません。詳しくは、同梱品一覧表で確認してください。

| 項　目 | 説　明 |
|---|---|
| [ 電源 ] ボタン | パソコンの電源を ON にします。パソコン起動中は、スリープまたは休止状態にします。<br>地デジ対応モデルは、電源 OFF 状態から [ エコ・ポン・パッ ] を TV モードで起動します。 |
| [ 入力切換 ] ボタン | 外部入力画面 ( ビデオ入力 ) または、パソコン画面 (PC) に切り換えます。 |
| [ 映像モード ] ボタン | 液晶ディスプレイの映像モードを操作できます。 |
| [ ワイド ] ボタン | 液晶ディスプレイのワイド設定を操作できます。 |
| [DVD 音声 ] ボタン | DVD の音声の言語を切り替えます。 |
| [PC モード ] ボタン | 地デジ対応モデルは、電源 OFF 状態から [ エコ・ポン・パッ ] を PC モードで起動します。また「エコ・ポン・パッ」の TV モード状態から PC モードに切り替えます。 |
| [DVD 字幕 ] ボタン | DVD の字幕の ON/OFF を切り替えます。 |
| [DVD メニュー ] ボタン | DVD 再生時に DVD のメインメニューを表示します。 |
| [ クリア ] ボタン | チャプター番号、トラック番号の入力を取り消します。 |
| [ 入力 ] ボタン | CD/DVD 再生時に [⓪] ～ [ ⑨ ] ボタンで入力したチャプター番号、トラック番号に進みます。 |
| [ ①～⑫、＊、⓪、# ] ボタン | CD/DVD 再生時に [⓪] ～ [ ⑨ ] ボタンでチャプター番号、トラック番号を指定します。 |
| [ メディアセンタースタート ] ボタン | Windows Media Center を起動します。 |
| [Prius] ボタン | Power Cinema を起動します。 |
| [ 音量 ] ボタン | 音量を上げたり、下げたりします。 |
| [ 消音 ] ボタン | スピーカーの音を消します / 元に戻します。 |
| [ ← ] ボタン | 画面上の [ 戻る ] ボタンをクリックしたときと同じ働きをします。<br>ひとつ前の画面に戻ります。 |
| [ 情報 ] ボタン | 動作中の機能に応じたメニューを選択するウィンドウが表示されます。 |
| [ 決定 ] ボタン | 方向ボタンで選んだ項目などを決定します。 |
| [ 方向 ] ボタン | カーソルを上下左右に移動します。 |
| [ 一時停止 ] ボタン | ⏸ 一時停止します。 |
| [ 再生 ] ボタン | ▶ 再生します。 |
| [ 停止 ] ボタン | ■停止します。 |
| [ サーチ ] ボタン | ◀◀ ▶▶ 早送り / 早戻しします。 |
| [ スキップ ] ボタン | ⏮ ⏭ 次 / 前のチャプターやトラックに移動します。 |

**重要**

● 説明のないボタンは、搭載ソフトウェアにより機能が異なります。
テレビの操作については、『エンターテインメント編』をご参照ください。
● リモコンは、本パソコン専用です。他のパソコンでは使用できません。

**ヒント**

● [ メディアセンタースタート ] ボタンと [Prius] ボタン
[ メディアセンタースタート ] ボタンは、Windows Vista Home Premium 用リモコンにあります。[Prius] ボタンは、Windows Vista Home Basic 用リモコンにあります。
● [ 消音 ] ボタン
有効になっていると、Windows を起動したときも音は鳴らなくなります。
● [ エコ・ポン・パッ ] は、地上デジタルチューナーボード搭載機種で動作します。それ以外の機種では動作しません。
● 電源コードを接続した直後は、キーボードの [POWER] キーまたは、リモコンの [ 電源 ] ボタンから起動できません。一度 Windows を起動し、Windows を終了して電源を切ってください。キーボードの [POWER] キーまたは、リモコンの [ 電源 ] ボタンから起動することができます。

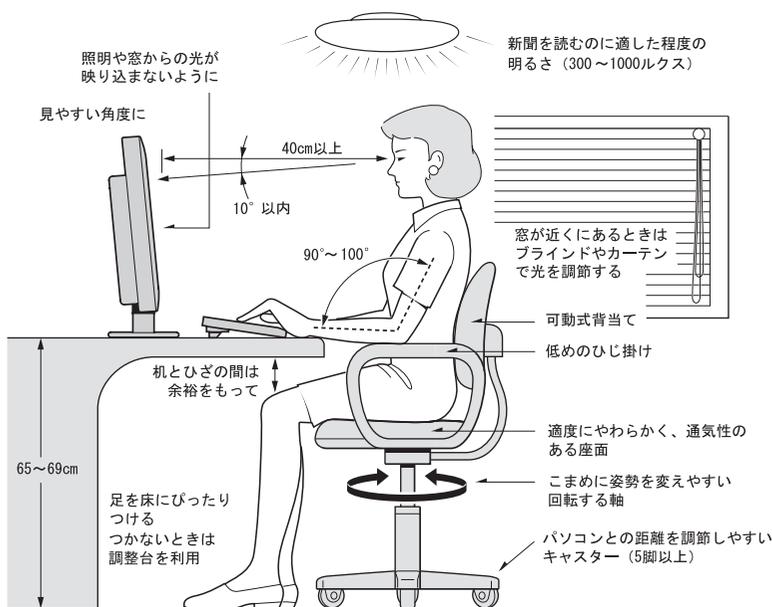
**参照**

・[ 電源 ] ボタンのスリープ / 休止の設定方法について→『パソコン応用編』2 章の「すぐに節電する」

# 接続しよう

パソコンの置き場所を決めてから、接続しましょう。

## 置き場所や姿勢について

パソコンを使う場所によっては、パソコンに思わぬトラブルを起こす可能性があります。パソコンを正しく使うために、パソコンを使うときに適した場所と姿勢について知っておきましょう。

参照：日本人間工学会 ノートパソコン利用の人間工学ガイドライン（1998 年 労働科学研究所発行）

・パソコンのディスプレイは、体の正面に設置し、見やすい角度に調整する。
・ディスプレイの照度、明るさと周囲の照明を適度に調節し、ディスプレイの反射を抑える。
・明るさコントラストなどを見やすいように調整する。
・キーボードやマウスを使うときは、手首とひじは水平になるような位置を保つ。
・パソコンの作業時間は、１日に最大６時間を目安とし、１時間ごとに 10 ～ 15 分の休息をとる。
・キーボードは、裏面についている足で、使いやすい角度に調整する。
・周辺機器を接続しても余裕のある、十分な作業空間を確保する。
・不自然な姿勢を避け、ときどき姿勢を変える。

**⚠警告**

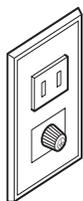
・**湿気やほこりの多い場所での使用について**
浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりや油煙の多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

・**ほこりの除去について**
パソコンの周囲はほこりを吸わないように、こまめに清掃してください。本体内部にほこりが溜まることによって、精密部分の冷却を妨げ、故障ややけどの原因になります。

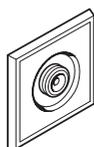
**⚠注意**

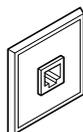
・**不安定な場所での使用について**
傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

## コンセントの位置を確認しよう

次のコンセント類が、パソコンを設置する場所にあるか、ご確認ください。コンセント類とパソコンを接続するケーブルが届く位置にパソコンの位置を決めてください。これは代表的な例です。

電源コンセント 1 個
プリンターなど、周辺機器を接続する場合は、さらにその個数分必要です。

アース端子 1 個
本体の FG 端子とアース端子をアース線で接続するときに必要です。

アース端子の接続方法→「パソコンを接続しよう」(P.35)

アンテナ端子 1 個
テレビを見るときに必要です。

テレビアンテナ端子の接続方法→「テレビを見たい方は」(P.44)

モジュラーコンセント 1 個
モデムを使ってインターネットに接続するときに必要です。

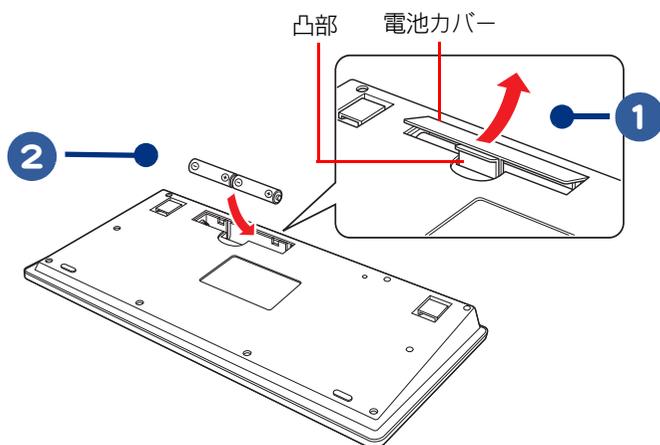
参照 モジュラーケーブルの接続方法→「モデムを使うには」(P.42)

## キーボードに電池を入れよう

### 1 電池カバーの凸部を指で押さえながら、矢印方向に押して開ける

### 2 プラス（+）、マイナス（−）を確認して、単3形アルカリ乾電池を2本入れる

### 3 電池カバーを閉める

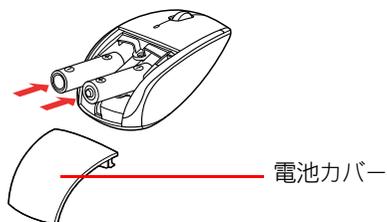
重要

- 操作範囲は、パソコンの周囲約6m以内となります。周囲環境(外来ノイズ)の影響によっては操作範囲が狭くなる場合があります。
- キーボードの乾電池寿命は、通常約6ヶ月(アルカリ乾電池使用時)です。なお、使用頻度が高い場合、電池寿命は短くなります。
- 長時間使用しない時は、乾電池を取り出してください。キーボードを使用せずに放置していても乾電池が消費されます。

## マウスに電池を入れよう

### 1 ラッチを矢印方向にカチッと鳴るまでスライドさせて、電池カバーを開ける

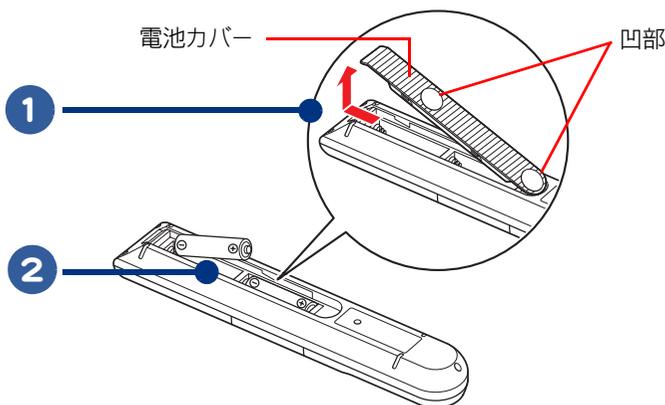
## 2 プラス（+）マイナス（−）を確認して、単3形アルカリ乾電池を2本入れる

## 3 電池カバーを閉める

**重要**

- 操作範囲は、パソコンの周囲約6m以内となります。周囲環境(外来ノイズ)の影響によっては操作範囲が狭くなる場合があります。
- マウスの乾電池寿命は、アルカリ乾電池使用時で、連続最大140時間（約5ヶ月）です。なお、使用頻度が高い場合、電池寿命は短くなります。
- 長時間使用しない時は、乾電池を取り出してください。マウスを使用せずに放置していても乾電池が消費されます。
- 使用するマウスパッドの種類(色、表面の状態等)によっては、ワイヤレスマウスの電池寿命が短くなります。

# リモコンに電池を入れよう

## 1 電池カバーの凹部を指で押さえながら、矢印方向にスライドさせて開ける

## 2 プラス（+）、マイナス（−）を確認して、単3形アルカリ乾電池を2本入れる

## 3 電池カバーを閉める

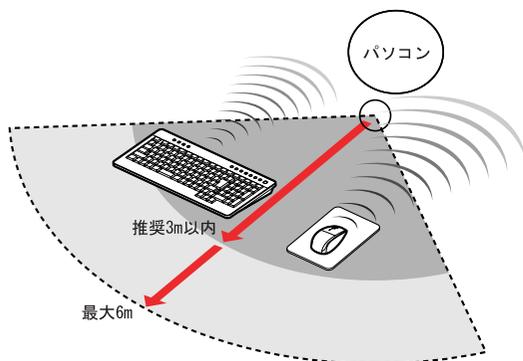
**重要**

- リモコン送信部と本体液晶下の受光部の位置により、操作範囲が変わります。
  正面の場合は5m以内、左右15°ずれる場合は3m以内です。ただし、直射日光が当たるなど、周囲環境によっては、操作範囲が狭くなることがあります。
- リモコンの乾電池寿命は、通常約2年(アルカリ乾電池使用時)です。なお、使用頻度が高い場合、電池寿命は短くなります。
- 長時間使用しない時は、乾電池を取り出してください。リモコンを使用せずに放置していても乾電池が消費されます。

# キーボード、マウス、リモコンの使用について

キーボード、マウス、リモコンの使用に適した環境と電池の取り扱いについて知っておきましょう。

## ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウスの操作範囲が適切か確認

操作範囲は、パソコンの周囲約 6m 以内となります。周囲環境 ( 周辺の電子機器など ) の影響によっては操作範囲が狭くなる場合があります。

## 電波の影響を受ける環境でお使いになる場合

次のような環境でお使いになると、周囲からの電波の影響を受けて、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスがうまく動作しないことがあります。

・ パソコン本体の近くにワイヤレス LAN アクセスポイントを置いている ( パソコン本体とアクセスポイントは 1m 以上離して設置してください )
・ パソコン本体と、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスの間に電気・電子機器や金属製のものを置いている
・ 周囲でノイズ源となる電気・電子機器 ( 無線機器を含む ) を使用している
・ 周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある ( このパソコンを複数台でお使いの場合、無線局の近隣でお使いの場合、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合など )
・ パソコン本体を電子レンジの近くに置いている

このような場合には、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスを登録し直すと、動作する場合もあります。

**⚠警告**

・**心臓ペースメーカー装着時の使用**
キーボードとマウスがワイヤレスで通信しています。電波により心臓ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。心臓ペースメーカーの装着部分から 22cm 以上離してご使用ください。

## 電池の取り扱いについて

**⚠警告**

・電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、気道を確保しながら直ちに医師にご相談ください。
・電池は次のことに注意してお取り扱いください。取り扱いを誤ると、液漏れ、過熱・破裂・発火し、火災やけがの原因になります。
　電池の+、−を正しく入れる
　火の中に入れない
　ショートさせたり、分解、加熱しない
　指定以外の電池は使用しない
　電池の+、−部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
　電池を金属製のピンセットなどでつかまない
　電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく
・電池を保管する場合は、端子に絶縁テープをはり、絶縁状態にしてください。絶縁状態にしないで電池を保管すると、端子間どうしが接触ショートし過熱・破裂・発火などでけがをしたり、火災の原因になります。

⚠注意　・キーボード、マウス、リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外してください。取り外さないと、液漏れにより やけどをしたり、キーボード、マウス、リモコンが故障するおそれがあります。

重要
- 必ず指定の乾電池を使用してください。ニッカド電池など電圧の異なるほかの電池は使用しないでください。故障するおそれがあります。
- 電池を交換するときは 2 本とも新しい電池と交換してください。古い電池と新しい電池をあわせて使用しないでください。
- 同梱品の乾電池は動作確認用です。乾電池寿命は保証できません。

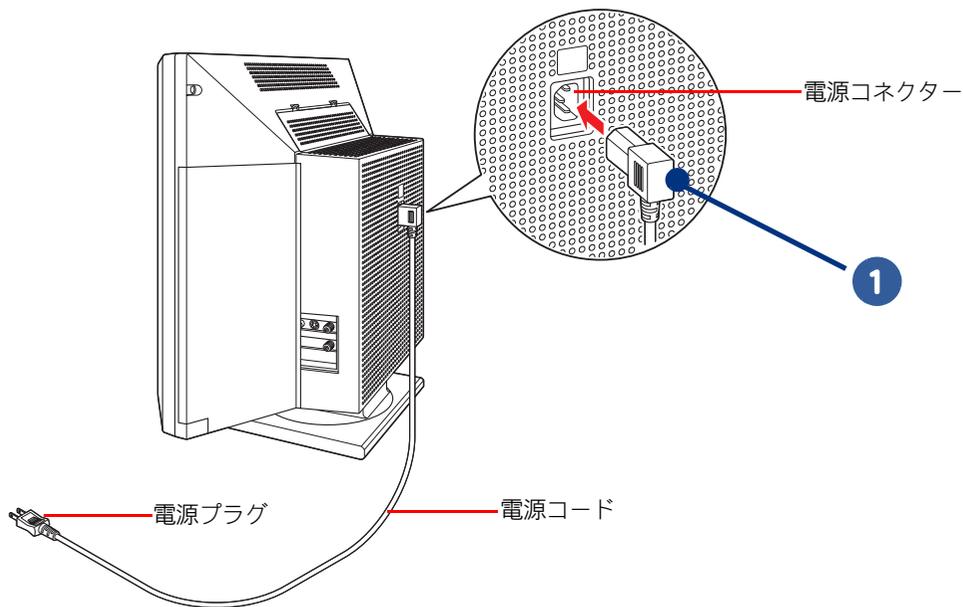
ヒント
- 動作可能領域で使っていても、うまく操作できないときは、電池残量がわずかになっている可能性があります。電池を交換してみてください。
- パソコンで設定を行うと、キーボードの電池残量を示すインジケーターを表示させることができます。

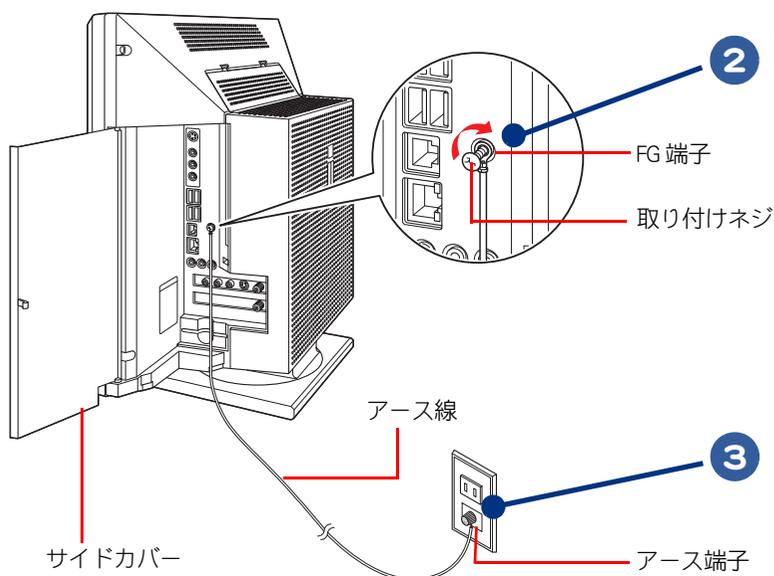
参照

・リモコンの使い方について→「リモコン」(P.27)
・電池残量の設定方法について→『パソコン応用編』 1 章の「マウスの電池容量の確認」
・マウスについて→『サポート＆サービス編』 3 章の「光学式マウスに関するご注意」


## パソコンを接続しよう

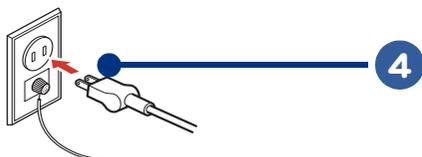
さっそく接続してみましょう。

### 1 電源コードをパソコンの電源コネクターへ差し込む

重要
- 電源コードは、電源コネクターの根元までしっかり差し込んでください。

## 2 側面のサイドカバーを開け、アース線を FG 端子に取り付けネジで接続する

## 3 アース端子にアース線を接続する

**重 要**

- 安全のためアース線が付いています。電源を入れる前に必ずアース線を接続してください。
- アース線をアース端子に接続するとき、アース線先端の被覆を外し、芯線をアース端子に接続してください。
アース線先端の被覆を外さず、被覆の上からアース端子に接続すると、万一の漏電時に感電の原因になります。

## 4 パソコンの電源コードのプラグを、コンセントに差し込む

**警告**

- **タコ足配線について**
同じコンセントに多数の機器を接続しないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になります。また、電力の使用量がオーバーとなり、ブレーカーが落ちてほかの機器にも影響を及ぼします。
- **アース線について**
感電防止のため、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと万一の漏電時に感電の原因になります。
  - ･本 ( 接地 ) 作業は、本体の電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
  - ･アース線は添付したもの以外は使用しないでください。
  - ･アース線は確実にアースがとれる箇所に接続してください。ガス管などの箇所には危険ですので絶対に接続しないでください。

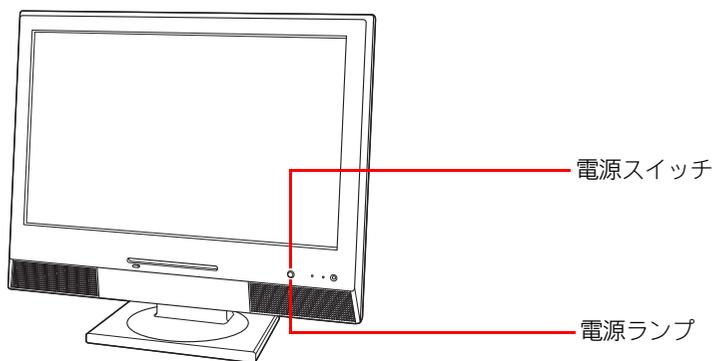
# 電源を入れよう

ここまででパソコンの電源を入れる準備ができました。
次に、電源を入れてキーボードとマウスを使えるようにするまでの操作を説明します。



## 電源を入れよう

### 1 パソコン前面の電源スイッチを押す

パソコンの電源ランプが緑色に変わり、しばらく待つと［Windows のセットアップ］が表示されます。

### 2 [Windows のセットアップ ] が表示されたら、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスをパソコンに登録をする

ヒント ● Windows 起動時は、ひんぱんに画面の切り替えが行われるため、画面が乱れることがあります。

# キーボードとマウスを登録しよう

キーボードとマウスの無線信号をパソコンで正しく認識できるように登録します。この操作を行わないと、電源スイッチを入れてもキーボードとマウスは使用できません。

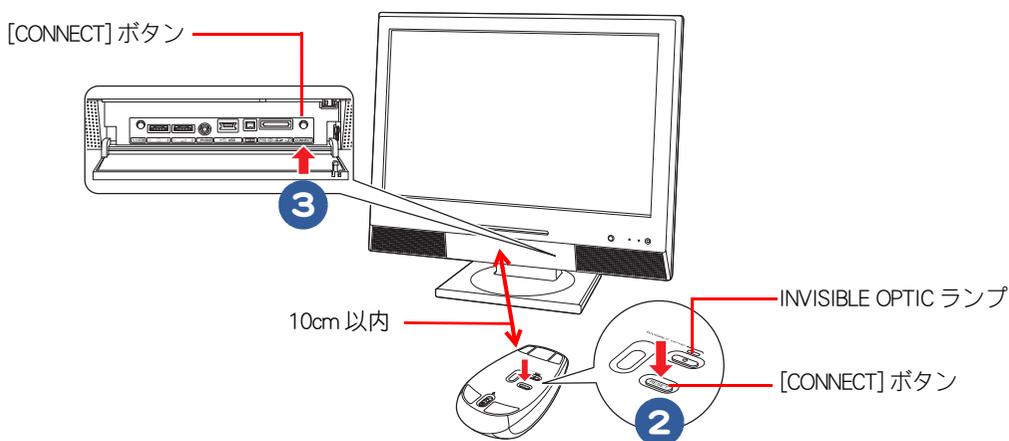
## 1 マウスをパソコンの前面 10cm 以内に近づけ、裏返しておく

重要
- 登録するときは、マウスとパソコンの距離を 10cm の範囲内で操作してください。10cm を超えると登録できない場合があります。

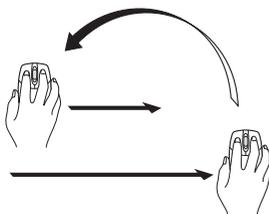
## 2 マウス裏面の [CONNECT] ボタンを 1 秒程度 1 回押す

INVISIBLE OPTIC ランプが点滅し、マウスの登録モードになります。

## 3 INVISIBLE OPTIC ランプが点滅している間に、パソコン前面の [CONNECT] ボタンをカチッという感触がするまで 1 回押す

正しく登録されると、INVISIBLE OPTIC ランプが 2 秒間点灯し、マウスが使えるようになります。

ヒント
- パソコンやマウスの [CONNECT] ボタンは、３秒以上押し続けないでください。３秒以上押し続けると、パソコンに正しく登録できない場合があります。
- パソコンの [CONNECT] ボタンは、連続で 2 回以上押さないでください。パソコンに正しく登録できない場合があります。
- マウスの [CONNECT] ボタンを押すと、約 15 秒間マウスの登録ができます。パソコンの [CONNECT] ボタンを押すと、通常 1 ～ 3 秒で使用できるようになりますが、設置環境に同周波数帯（2.4GHz）の装置がある場合や外来ノイズが多い場合は、20 秒程度かかることがあります。

## 4 ワイヤレスマウスを操作する

画面上の が動くようになります。

**重要** ● ここでは、マウスの動作確認をします。[ 次へ ] を、クリックしないでください。

**ヒント** ● 画面に表示されている を、「マウスポインター」と呼びます。

## 5 手順 3 の操作から約 30 秒経っても画面上の が動かない場合は、手順 1 〜 4 でもう一度設定する。動く場合は、手順 6 に進む

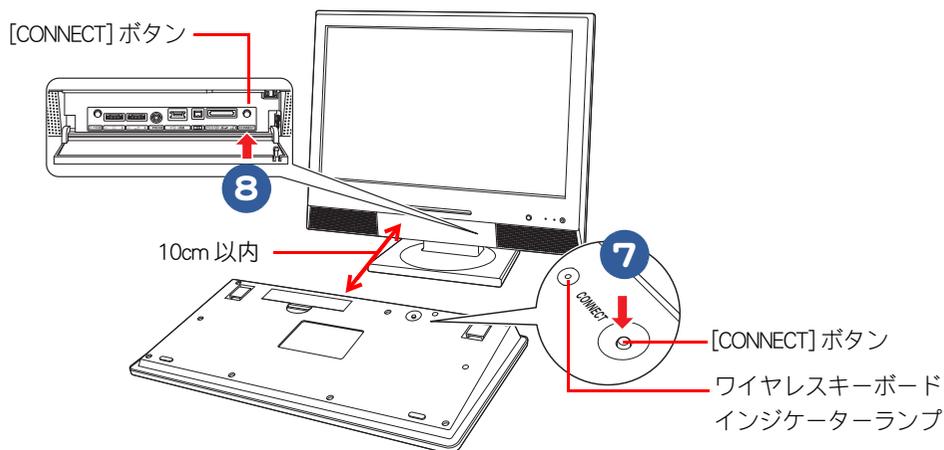
## 6 キーボードをパソコンの前面 10cm 以内に近づけ、裏返しておく

**重要** ● 登録するときは、キーボードとパソコンの距離を 10cm の範囲内で操作してください。10cm を超えると登録できない場合があります。

## 7 キーボード裏面の [CONNECT] ボタンを 1 秒程度 1 回押す

ワイヤレスキーボードインジケーターランプが点滅し、キーボードの登録モードになります。

## 8 ワイヤレスキーボードインジケーターランプが点滅している間に、パソコン前面の [CONNECT] ボタンをカチッという感触がするまで 1 回押す

正しく登録されると、ワイヤレスキーボードインジケーターランプが点滅から 2 秒間の点灯に切り替わり、キーボードが使えるようになります。
点滅から消灯に切り替わった場合は、登録に失敗しています。

続けて、使用許諾契約を行い、Windows を使えるようにします。『パソコン使用編』 1 章の「使用許諾契約に同意しよう」をご参照ください。

**重要** ● キーボードの動作確認は、『パソコン使用編』 1 章の「使用許諾契約に同意しよう」の [ ユーザー名 ] を入力するときに確認します。

**ヒント**
- ● パソコンやキーボードの [CONNECT] ボタンは、 3 秒以上押し続けないでください。 3 秒以上押し続けると、パソコンに正しく登録できない場合があります。
- ● パソコンの [CONNECT] ボタンは、連続で 2 回以上押さないでください。パソコンに正しく登録できない場合があります。
- ● キーボードの [CONNECT] ボタンを押すと、約 15 秒間キーボードの登録ができます。パソコンの [CONNECT] ボタンを押すと、通常 1 〜 3 秒で使用できるようになりますが、設置環境に同周波数帯 (2.4GHz) の装置がある場合や外来ノイズが多い場合は、20 秒程度かかることがあります。

## ❾ 手順 8 でワイヤレスキーボードインジケーターランプが 2 秒間点灯しない場合は、30 秒経ってから手順 6 ～ 8 でもう一度設定する

ヒント ● キーボードとマウスの登録は、1 回行えば再セットアップや電池交換後も必要ありません。ただし、修理を行った場合は再度登録が必要です。

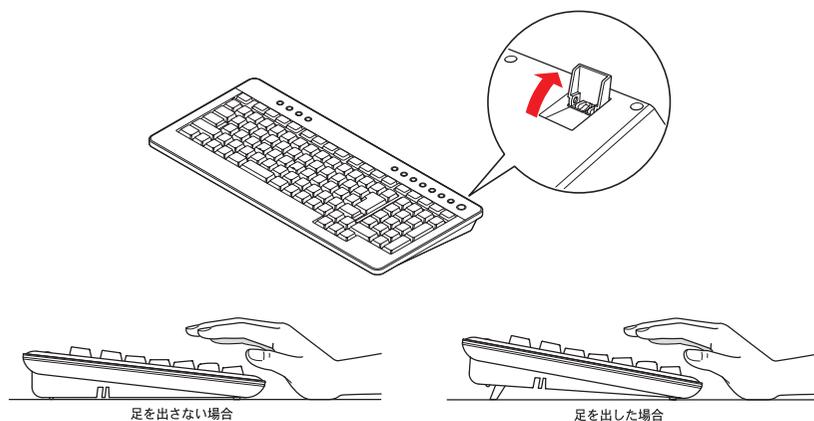
### マウスご使用上の注意

マウスは電池寿命を延ばすため、10 秒操作しないと節電モードに入ります。節電モードを解除するには、マウスを動かしたり、左ボタン、右ボタンを操作してください。節電モードが解除された直後は、マウスポインターの反応が少し遅れます。
ワイヤレスマウス電池残量ランプが赤く点滅しているときは、電池交換してください。

### キーボードご使用上の注意

ワイヤレスキーボードは電池寿命を延ばすため、一つのキーを約 1 分以上押し続けた場合、キー入力を停止します。押し直すと、キー入力を再開できます。

### キーボードの角度を変えよう

キーボードの裏面には、キーボードの角度を変えるための足が付いています。この足を引き出すと、キーボードを置いたときの傾きを大きくできます。

# 2章 いろいろな使い方をするために

ここでは、インターネットやテレビを使うための準備など、パソコンのいろいろな使い方について説明しています。


»・インターネットを始めたい方は（P.42）
»・テレビを見たい方は（P.44）
»・ほかの周辺機器を使うときは（P.49）
»・ディスクを使うときは（P.52）
»・サイドカバーを取り外すときは（P.55）
»・メモリーボードを取り付ける（P.56）

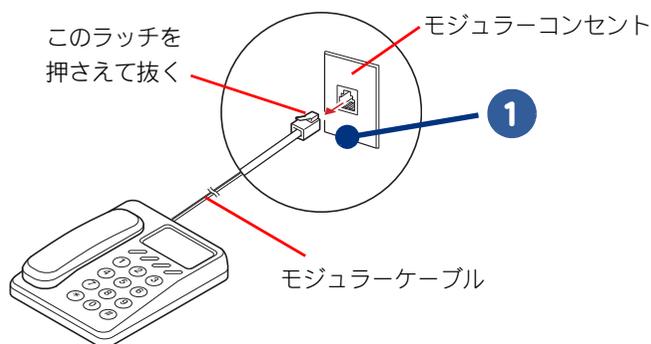
# インターネットを始めたい方は

ここではモデムを使ってインターネットを始める方法を例に説明します。
モデム以外の方法でインターネットを始める方は、『インターネット編』をご参照ください。

## モデムを使うには

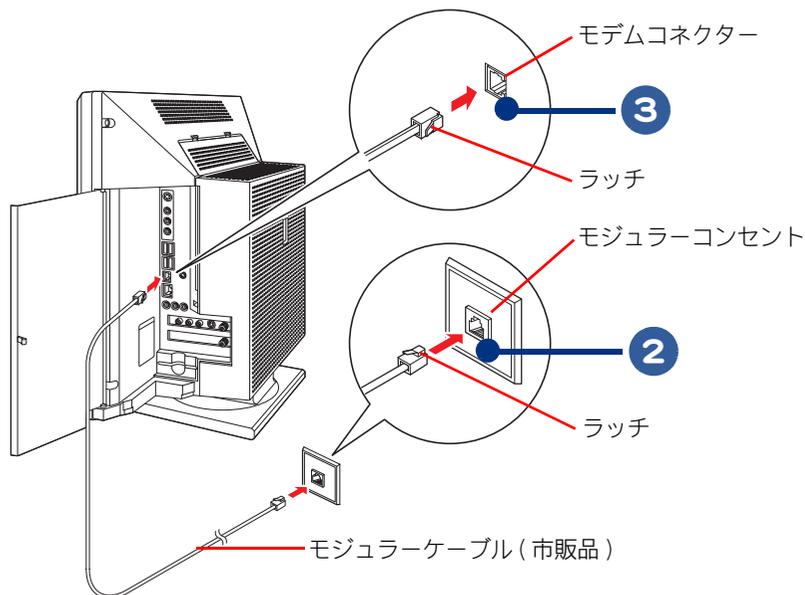
モデムを使ってインターネットを始めるためには、次のようにモジュラーケーブルを接続してください。接続には、電話機に接続されているモジュラーケーブルのほかに、もう1本モジュラーケーブルが必要です。市販のモジュラーケーブルを準備してください。

⚠警告　・雷が鳴っているときは、パソコンの使用、アンテナ線の接続および電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

### 1 お使いの電話機につながっているモジュラーケーブルを、モジュラーコンセントから抜く

⚠重要　● モジュラーケーブルには脱落防止のラッチが付いています。モジュラーケーブルを取り外すときは、ラッチを押さえながらモジュラーコンセントから引き抜いてください。ラッチを押さえずに無理に引き抜くと、モジュラーケーブルが断線したり、モジュラーコンセントを破損するなどのおそれがあります。

### 2 モジュラーケーブル（市販品）の片側を、モジュラーコンセントに「カチッ」と音がするまで差し込む

## ❸ モジュラーケーブルの反対側を、パソコンのモデムコネクターに「カチッ」と音がするまで差し込む

LANコネクターに接続しないように、必ずマーク( 凸 )などを確認して接続してください。

ヒント
- 接続する前に、お使いになっている電話機の種類をご確認ください。お使いになっている電話機がホームテレホンやビジネスホン(内線)の場合、接続しても正常にインターネットを始めることができません。この場合は、NTTにご相談ください。
- モジュラーコンセントの形状がイラストと異なる場合は、モジュラーコンセントを変更する必要があります。詳しくはNTTにご相談ください。

重要
- モジュラーケーブルには脱落防止のラッチが付いています。モジュラーケーブルを取り外すときは、ラッチを押さえながらモジュラーコンセントから引き抜いてください。ラッチを押さえずに無理に引き抜くと、モジュラーケーブルが断線したり、モジュラーコンセントを破損するなどのおそれがあります。

インターネットを始めるためには、ほかにも必要な手続きが残っています。インターネットの始め方については、『インターネット編』をご参照ください。

# テレビを見たい方は

テレビ機能付きモデルの場合、テレビを見るにはアンテナ線とパソコンを接続します。
ここでは、アンテナ線などをパソコンに接続する方法について説明しています。
チャンネル設定などのテレビを見る詳しい操作については、『エンターテインメント編』をご参照ください。

**警告**

・雷が鳴っているときは、パソコンの使用、アンテナ線の接続および電話線への接続作業を中止してください。
誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

## アンテナ線と接続する

パソコンとアンテナ線を接続するには、次の方法があります。パソコンを置く部屋やほかの家電製品を考慮し、接続しましょう。
お住まいの設備によりアンテナ端子の形状が異なります。アンテナ端子の形状をご確認ください。
フィーダー線やアンテナアダプターなど必要なものが異なります。

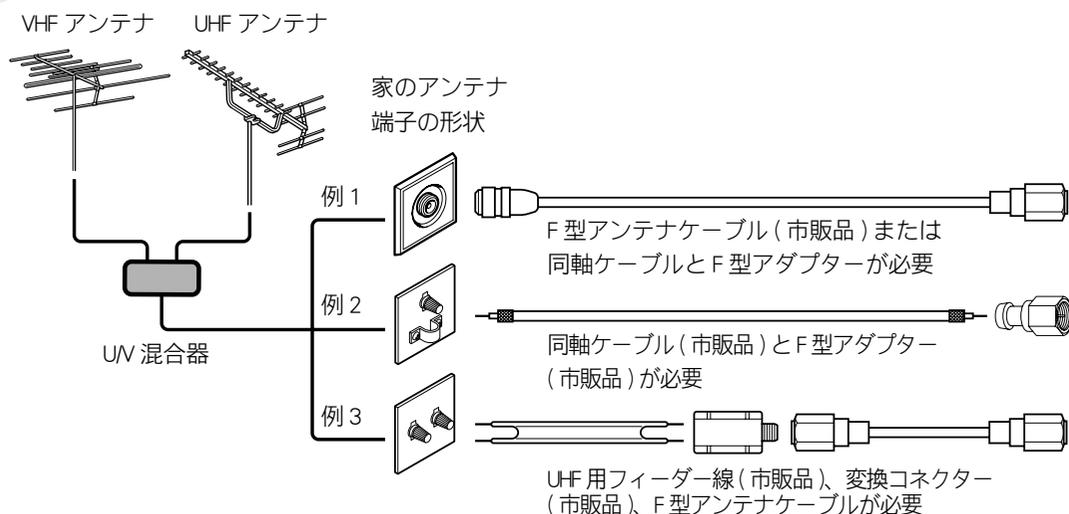
**ヒント**

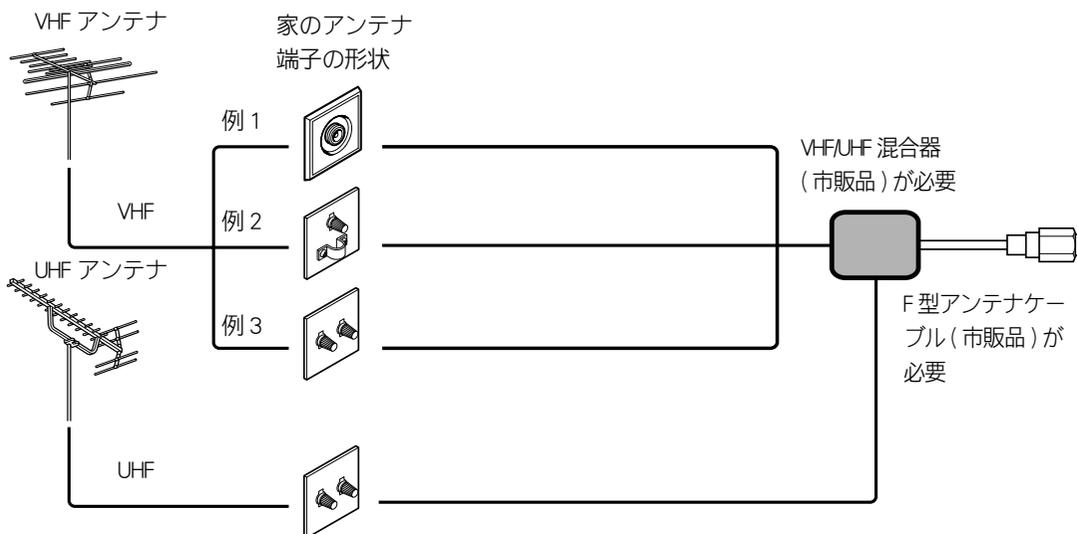
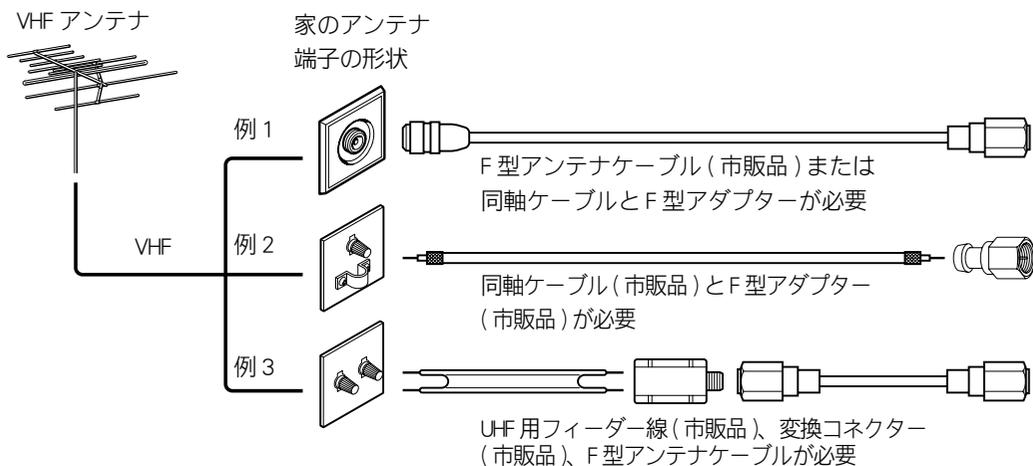
- 市販のアダプター、ケーブルなどは、パソコンショップなどでお買い求めください。
- イラストは、アンテナ端子の形状を説明するためのイメージです。

**重要**

- このパソコンは VHF、UHF アンテナのみに対応しています。それ以外のアンテナには対応していません。
- 地上デジタル放送を受信するためには、地上デジタル送信局に向けて UHF アンテナを設置する必要があります。地上アナログ放送対応の UHF アンテナでは、受信できない場合があります。
- 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。アンテナの調整やブースターの取り付けなどは、パソコンショップなどにお問い合わせください。

### VHF/UHF 混合の場合

#### アンテナ端子が 1 つのとき

## VHF/UHF 別々の場合

### アンテナ端子が 2 つのとき

## VHF の場合

ヒント ● VHF アンテナだけの場合は、地上デジタル放送を視聴できません。

## CATV の場合

CATV から受信する場合は、CATV 業者との契約が必要です。伝送方式や接続については CATV 業者にお問い合わせください。

ヒント ● CATV から地上デジタル放送を視聴するには、CATV 局が地上デジタル放送に対応している必要があります。

### CATV における地上デジタル放送の主な伝送方式

| 伝送方式 | 特徴 | 本パソコンでの受信 |
|---|---|---|
| トランスモジュレーション方式 | 放送信号を CATV 局の独自の方式に変更して再送信する方式。 | × |
| 同一周波数パススルー方式 | 放送信号をそのまま再送信する方式。 | ○ |
| 周波数変換パススルー方式 | 放送信号の周波数などを変換して CATV 局から再送信する方式。 | ○ |

## パソコンにアンテナを接続する

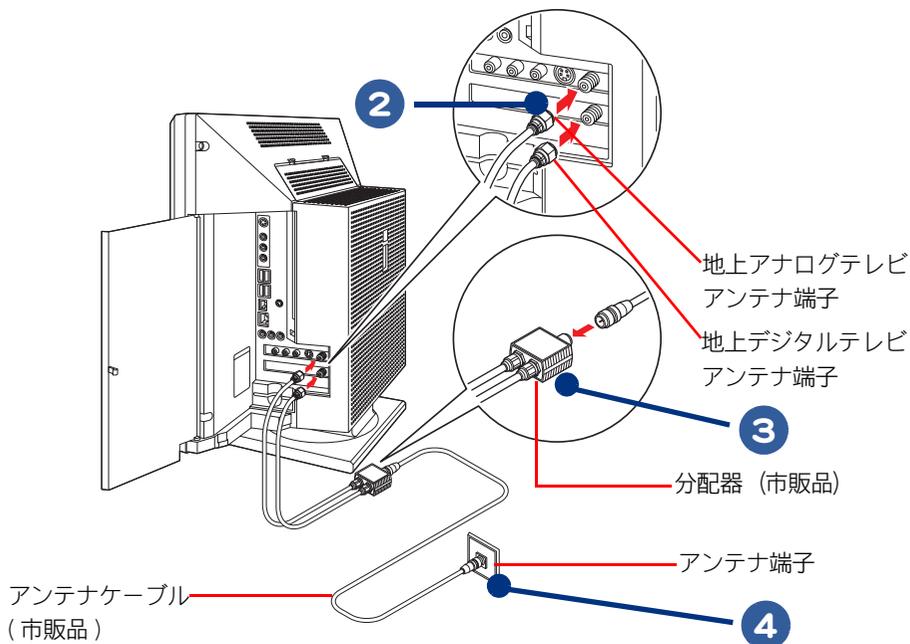
テレビチューナーでテレビを見る場合の接続です。

### 1 電源ランプが消えていることを確認する

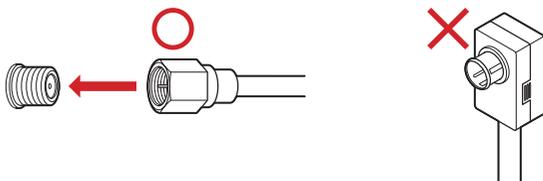
### 2 アンテナケーブルをテレビアンテナ入力端子に差し込み、ネジを締める

### 3 分配器が必要な場合は、アンテナケーブルを分配器に差し込む

### 4 アンテナケーブルをアンテナ端子に差し込む

**重要**

- パソコンと周辺機器の電源を切ってから接続してください。
- アンテナケーブルは、添付品または市販品をご使用ください。自作のテレビアンテナケーブルなど、芯線の太さが異なるケーブルを使用すると、受信感度が悪くなる場合があります。
- 機種によりテレビチューナーボードの位置は異なります。

### F 型コネクターについて

市販品のアンテナケーブルでテレビアンテナ入力端子への接続を行う際は、F 型コネクターをご利用ください。異なるコネクターを使用すると受信感度が悪くなる場合があります。

## B-CAS カードを取り付ける【地デジ】

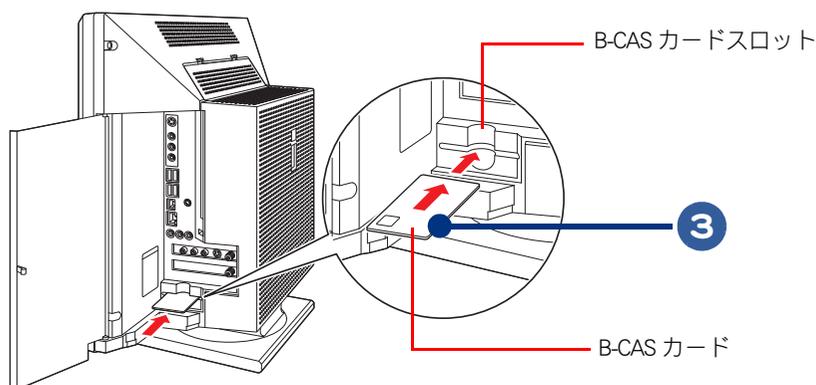
地上デジタル放送は、B-CAS カードを取り付けないと視聴できません。

**重要**

- パソコンと周辺機器の電源を切ってから接続してください。
- 同梱の B-CAS カードは地上デジタル放送専用カードです。BS/CS110 の視聴と有料放送の契約はできません。
- B-CAS カードは、取り外さないでください。取り外す場合はパソコンの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

### 1 電源ランプが消えていることを確認する

### 2 B-CAS カードに印刷されている矢印の向きを確認する

### 3 カードの矢印面を上にして、B-CAS カードスロットに奥まで差し込む

**ヒント**

- 裏向きや逆方向から差し込まないでください。方向が異なると地上デジタル放送を受信できません。

### 4 B-CAS カードを登録する

B-CAS カードに添付されている説明書を読み、登録はがきに必要事項を記入して投函してください。

**重要**

- B-CAS カードは、地上デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与されたカードです。このカードの所有権は ( 株 ) ビーエス・コンディショナル アクセス システムズに帰属します。
- B-CAS カードを破損・紛失した場合は、B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用がかかります。

# 電話回線をモデムに接続する【地デジ】

地上デジタル放送では、電話回線やインターネットを使って双方向サービスに関する情報を送信します。双方向サービスを利用する場合は、必ず電話回線をモデムに接続し、またインターネット環境をご利用ください。

**重要**
- インターネットの接続に ADSL などの LAN 回線を使用している場合は、LAN コネクターに LAN ケーブルを接続してください。この場合も必ず電話回線をモデムに接続してください。
- 電話回線やインターネットの通信料金は、お客様の負担になります。

■電話回線の接続について
地上デジタル放送は、電話回線を使った視聴者参加番組があります。NTT の 2 線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS/20 PPS）電話機に接続されている電話線を分配して接続してください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および 2 線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHS など）では利用できません。

■インターネットへの接続について
地上デジタル放送では、インターネットへの接続により多様な双方向データサービスを利用できます。このサービスを利用するには、常時接続の回線業者やプロバイダーとの契約が必要です。インターネットへの接続をしないと、双方向データサービスを利用できない場合があります。

# ほかの周辺機器を使うときは

周辺機器の接続は、『パソコン応用編』の「3章 パソコンを拡張する」をご参照ください。次のような接続や取り付けなどが行えます。必要に応じて、あらかじめ印刷してください。
電子マニュアルは、デスクトップ画面の［電子マニュアル］アイコンをダブルクリックします。
設定などの詳しい説明は、周辺機器のマニュアルをご参照ください。

・ USB 機器を接続する
・ IEEE1394 機器を接続する
・ LAN を接続する
・ ヘッドホン、マイクを接続する
・ 光デジタルオーディオ機器を接続する
・ メモリーカードを使う
・ その他の周辺機器を接続する

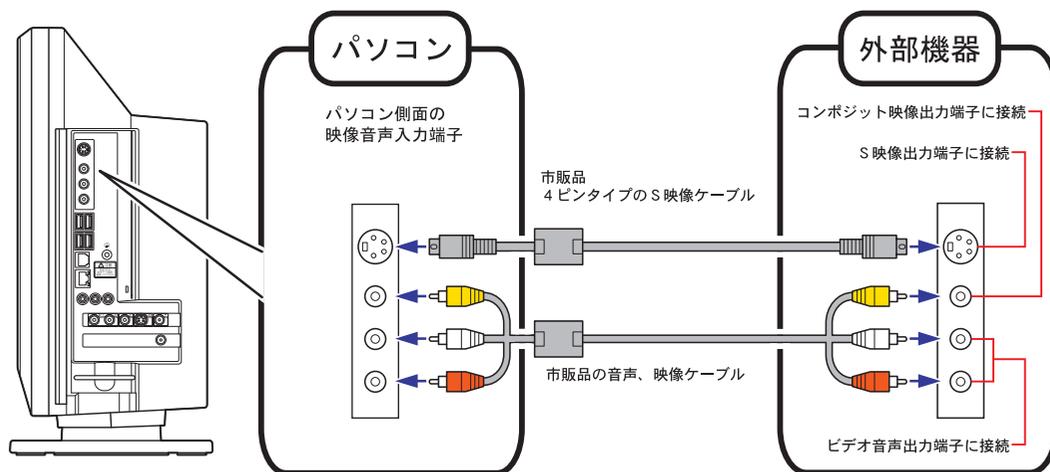
重 要
● 周辺機器を接続する前に、Windows のセットアップを完了してください。周辺機器を接続してから Windows のセットアップを行うと、正しくセットアップできない場合があります。
参照 Windows のセットアップについて→『パソコン使用編』 1章の「使用許諾契約に同意しよう」
● 接続するときは、パソコンと周辺機器の電源をあらかじめ切ってください。

ヒント
● 次のプリンタードライバーはプレインストールされています。プリンターを接続すれば、使用できます。
一括インストールしたときには、これらのドライバーはインストールされません。プリンターに付属のドライバーをインストールしてください。
・EPSON (PM-G850、PM-D870、PX-A720、PM-A820、PM-A920、PM-A970、PX-G930)
・Canon (PIXUS MP810、PIXUS MP600、PIXUS MP510、PIXUS MP460、PIXUS iP4300、PIXUS iP3300、PIXUS iP1700)

# 外部機器の映像をディスプレイに表示するには

テレビゲーム機やビデオカメラなどの外部機器の映像をソフトウェアを使用せずに表示できます。

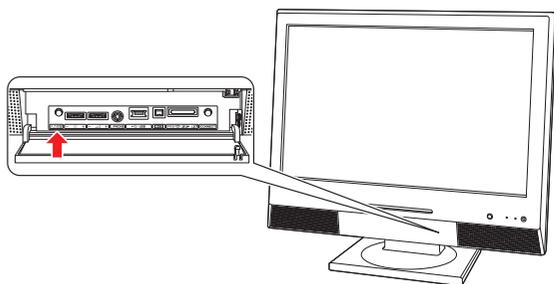
## 1 パソコンとビデオなどの外部機器の電源を切る

## 2 ビデオなどの外部機器を接続する

重要
- 外部機器にS映像出力端子がある場合は、S映像ケーブルで接続するとよりよい画質で表示されます。S映像出力端子がない場合は、コンポジット映像出力端子に接続します。両方の端子に接続した場合は、[入力切換]ボタンを押すごとに[PC]→[S映像]→[コンポジット映像]→[PC]→・・・と切り換わります。
- 本S端子はスクイーズ信号(16:9)に対応していません。スクイーズ信号を入力すると縦長に表示されます。16:9の映像を入力する場合は、16:9の上下に黒帯の付けて4:3にしたレターボックス信号を入力してください。
- 外部機器の端子や出力信号は機種により異なります。外部機器のマニュアルをご参照ください。

## 3 ビデオなどの外部機器、パソコンの順に電源を入れる

Windowsが起動します。

## 4 パソコン前面の[入力切換]ボタンを押す

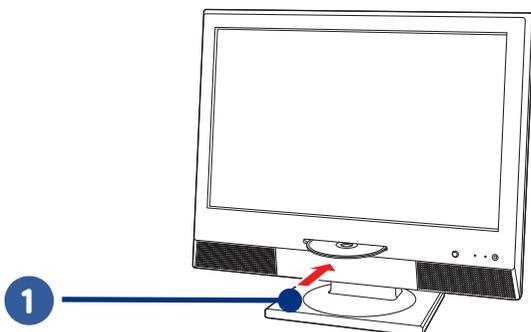
画面中央に[ビデオ入力]と3秒間表示され、入力した映像が表示されます。

終了する場合は、[入力切換]ボタンを押してパソコン画面に切り替えてWindowsを終了させてください。

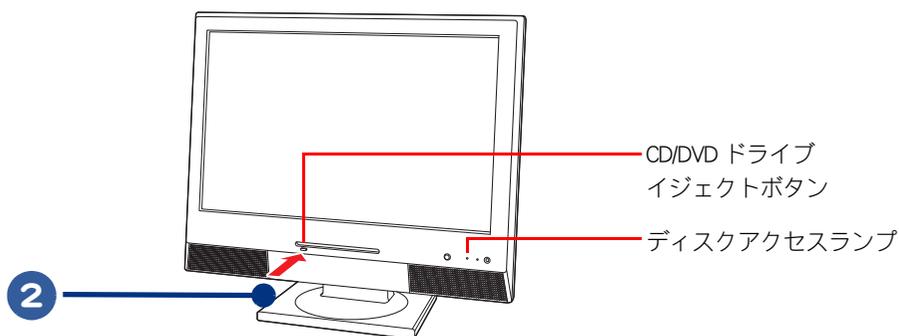
● 音量の調整は、パソコン前面のスピーカー音量調節ボリュームで行います。

● この外部映像入力端子に接続してもパソコンにデータを取り込むことはできません。地上アナログチューナーボードの外部映像入力端子に接続すればデータを取り込めます。
● 地上アナログチューナーボードの外部映像入力端子に接続した場合、ビデオモードでは表示できません。

# ディスクを使うときは

## CD/DVD ドライブのディスクの入れ方 / 取り出し方

### 1 ディスクの文字などが書かれている面（表側）を上に向け、自動的に引き込まれるまで CD/DVD ドライブに差し込む

### 2 取り出す時は、ディスクアクセスランプが点灯していないことを確認して、CD/DVD ドライブイジェクトボタンを押す

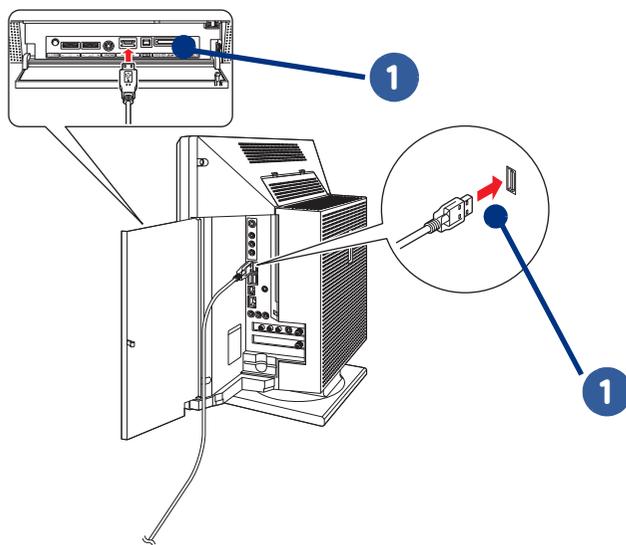
少しディスクが出てくるので、手で引き出します。

重要
- 割れたり、変形したディスクは入れないでください。故障の原因になります。
- ディスクを出し入れするときは、無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。ドライブが壊れることがあります。
- ディスクアクセスランプが点灯や点滅中にディスクを出し入れすると、ディスクが壊れることがあります。
- 同梱の 8 cmディスクアダプターを使用する場合を除いて、12 cmの CD、DVD 以外は使用できません。ハート型、カード型などの特殊な形をしたディスクは故障の原因になりますので使用できません。

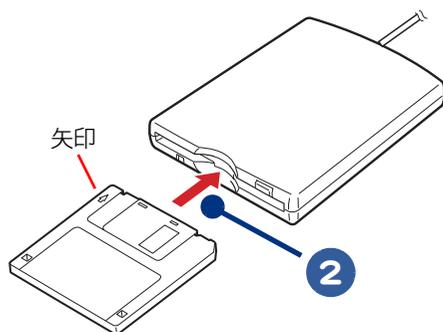
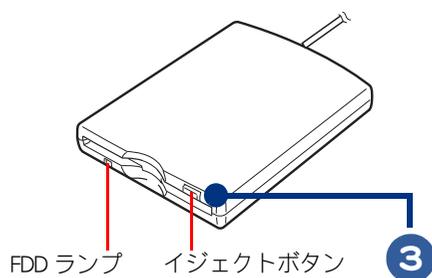
ヒント
- ディスクを差し込むと、ディスクの動作を選択する画面が表示されることがあります。

参照
使用できるディスクの種類→「ドライブの仕様」(P.60)

## FD の入れ方 / 取り出し方

ここでは、外付けの USB FDD（オプション）の接続方法について説明します。

### 1 パソコン前面または側面の USB コネクターのどれかに、FDD の USB ケーブルを接続する

重要
- コネクターには上下の向きがあります。コネクターの形を確認して取り付けてください。誤った向きで無理に押し込むと、コネクター破損の原因になります。
- FDD は上下を逆にしないでください。
- FDD はパソコンからはなるべく離してご使用ください。
- FDD を取り外すときは、FDD に FD が入っていないことを確認してください。FD が壊れることがあります。
- USB コネクターは 5 つあります。どのコネクターに接続しても動作は同じです。

### 2 FD の表側（ラベルをはる面）を上に向け、矢印を FDD に向け、「カチッ」と音がするまで押し込む

## 3 FD を取り出す時は、FDD ランプが点灯していないことを確認して、イジェクトボタンを押す

重要

- FDD ランプの点灯、点滅中に FD を出し入れすると、FDD または FD が壊れることがあります。
- パソコンの電源を切るときは、FD を取り出してからにしてください。FD を入れたまま電源を切ると、FD が壊れることがあります。また、FD を入れたまま電源を入れると、パソコンが起動しないことがあります。

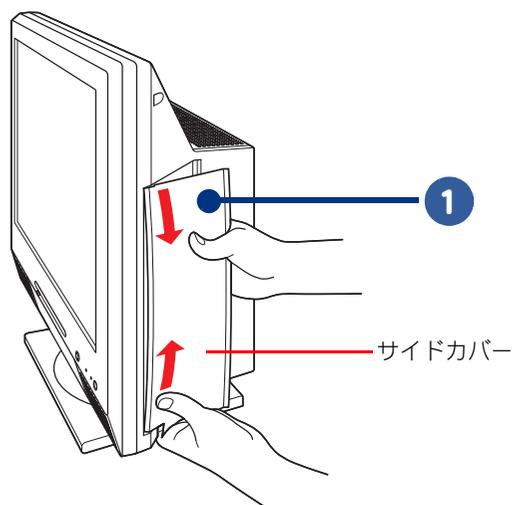
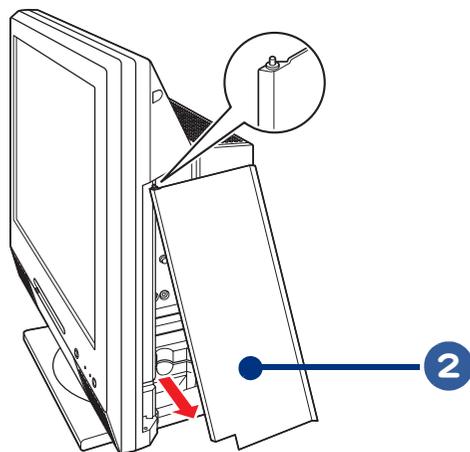
参照 FD のフォーマット方法について→『入門編』 3章の「フロッピーディスクをフォーマットしよう」

## 4 FD が出てくるので、FDD から取り出す

# サイドカバーを取り外すときは

接続した周辺機器の形状や大きさのためにサイドカバーが閉まらい場合は、次の手順でサイドカバーを取り外すことができます。

## サイドカバーの取り外し方法

### 1 サイドカバーを矢印の方向に湾曲させる

### 2 サイドカバーの下側から取り外す

ヒント ● 取り付ける場合は、逆の手順でサイドカバーの上側から取り付けてください。

# メモリーボードを取り付ける

メモリーボードを増設すると、メモリー容量を増やすことができます。最大 2048MB まで増設できます。

## 作業時の注意点

メモリーボードの増設には細心の注意を払ってください。
特に、次の点は必ずお守りください。

⚠警告

■ メモリーボードカバーの取り外し

メモリーボードカバーを取り外すときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類をパソコンから外してから行ってください。パソコンの電源を切っても、一部の回路には通電しているため、思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。

⚠注意

■ 綿手袋を着用する

パソコンの移動、部品の追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。

注意

■ 体から静電気を逃がしておく

パソコンやメモリーボードは精密機器です。わずかな静電気も故障の原因になります。あらかじめ金属に触れるなどして、体から静電気を逃がしておいてください。

## メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた

メモリーボードは、この表の組み合わせを参考にして増設してください。

| メモリー | ソケット | |
|---|---|---|
| 実装容量 ＊1 | 1 | 2 |
| 512MB | 512MB | ― |
| 1024MB | 512MB | 512MB |
| | 1024MB | ― |
| 2048MB | 1024MB | 1024MB |

＊1：実装容量は、［コントロール パネル］－［システムとメンテナンス］をクリックし、［システム］をクリックすると確認できます。ただし、［システムとメンテナンス］をクリックし、［システム］に表示される容量は、実装容量からビデオメモリー容量分を引いた値です。

ヒント
- 同一のメモリーボードを 2 枚取り付けていると、Dual-Channel-Mode で動作可能となり、倍容量のメモリーボードを 1 枚で取り付けているときより高速処理ができるようになります。
- ソケット 1、2 の組み合わせが逆でも増設できます。

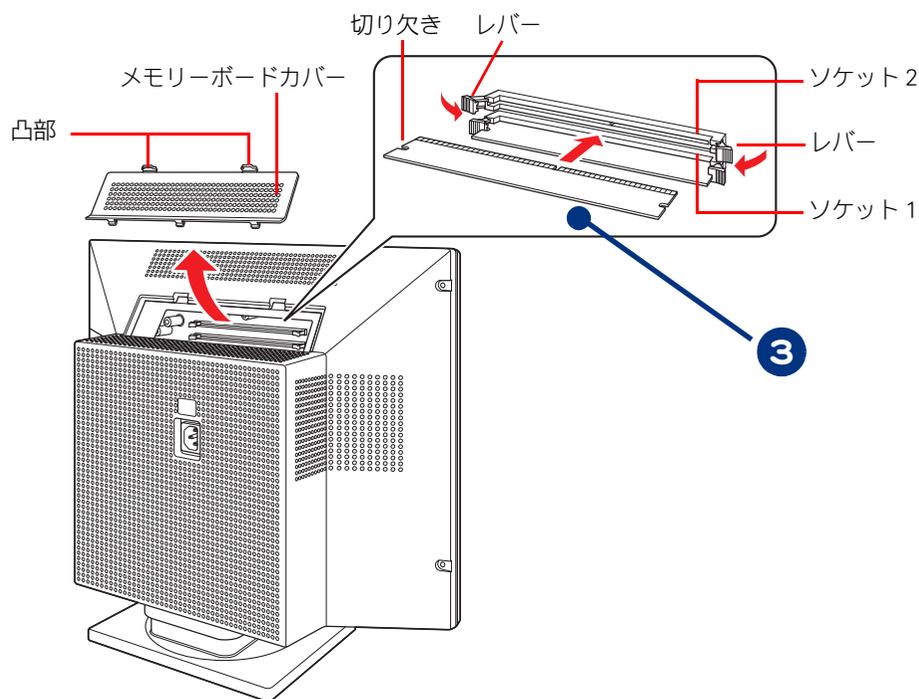
重要
- 仕様の異なるメモリーボードを取り付けないでください。正常に動作しない場合があります。

参照 メモリーボードの仕様について→「メモリーボードの仕様」(P.63)

## 取り付け手順

**1 パソコンの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**

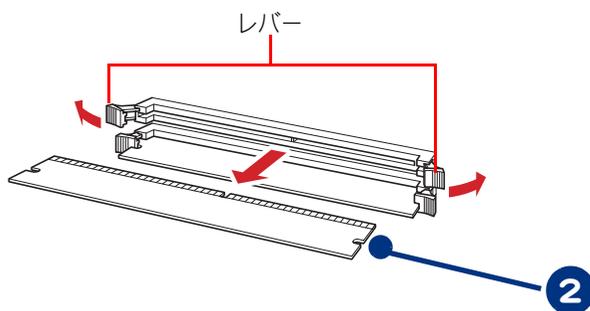
**2 メモリーボードカバーの凸部を、指で押さえながら手前に開け、メモリーボードカバーを取り外す**

**3 メモリーボードを取り付けるソケットのレバーを外側に倒し、ソケットにメモリーボードを差し込む。レバーが切り欠きにかかるまで少しずつ押し込む**

⚠重要 ● メモリーボードは確実に取り付けてください。メモリーが正しく増設されません。また、パソコン誤動作の原因になります。なお、誤った取り付け方をしたために発生した破損などについての修理は有償となります。あらかじめご了承ください。

**4 メモリーボードカバーを取り付ける**

## 取り外し手順

### 1 メモリーボードカバーを取り外す

### 2 レバーを図の矢印の方向に倒し、メモリーボードを浮き上がらせ、ゆっくりと手前に引き抜く

### 3 メモリーボードカバーを取り付ける

⚠警告

・メモリーボードカバーについて
作業終了後は、必ずメモリーボードカバーを取り付けてください。万が一の部品破損時、発煙、発火、火災の原因になります。

# 3 章 技術情報

この章では、ドライブの仕様などについて説明します。


- ・ドライブの仕様（P.60）
- ・メモリーボードの仕様（P.63）
- ・有寿命部品一覧（P.64）
- ・オプション情報（P.65）

# ドライブの仕様

## DVD スーパーマルチドライブ(DVD ± R 2 層書き込み対応 )の仕様

| 項　目 | 仕　　様 |
|---|---|
| 読み込み速度 * | CD-ROM、CD-R/CD-RW：最大 24 倍速<br>DVD-ROM：最大 8 倍速、DVD-R：最大 8 倍速<br>DVD-RW：最大 6 倍速、DVD-RAM：最大 5 倍速、<br>DVD+R：最大 8 倍速、DVD+RW: 最大 8 倍速、<br>DVD+R DL：最大 6 倍速、DVD-R DL：最大 6 倍速 |
| 書き込み速度 | CD-R：最大 24 倍速、CD-RW：最大 16 倍速<br>DVD-R：最大 8 倍速、DVD-RW：最大 6 倍速<br>DVD-RAM：最大 5 倍速、DVD+R : 最大 8 倍速<br>DVD+RW : 最大 8 倍速、DVD+R DL：最大 4 倍速<br>DVD-R DL：最大 4 倍速 |
| インタフェース | ATAPI |
| データ転送速度<br>(I/F 上) | 最大 33MB/sec |
| 平均アクセスタイム | DVD-ROM：180ms<br>DVD-RAM(Ver2.2)：280ms<br>CD-ROM：150ms |
| バッファーメモリー | 2MB |
| ローディング方式 | スロットインローディング |
| レーザー規格 | Class 1 |
| 読み込み可能ディスク | CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW、DVD-RAM<br>DVD+R 、DVD+RW、DVD+R DL、DVD-R DL |
| 書き込み可能ディスク | CD-R/RW、DVD-R(4.7GB)、DVD-RW(Ver.1.2)、DVD-RAM(4.7GB/9.4GB)、<br>DVD+R(4.7GB)、DVD+RW(4.7GB)、DVD+R DL(8 倍速 )、DVD-R DL(8 倍速 ) |
| 対応フォーマット | CD-DA( オーディオ CD)、CD-ROM(modeI 、mode2)、CD-ROM XA<br>(mode2 の Form1 、Form2)、CD-R/RW、Photo CD( シングル／マルチセッション )、Video<br>CD、CD Extra(CD+)、CD-TEXT、CD-I、DVD-ROM、<br>DVD-R(3.95GB/4.7GB)、DVD-VIDEO、DVD-RW(4.7GB,Ver1.2)、<br>DVD-RAM(2.6GB/4.7GB/9.4GB 、Type1 は除く )<br>DVD+R(4.7GB)、DVD+RW(4.7GB)、DVD+R DL(8.5GB)、DVD-R DL(8.5GB) |

| 項　目 | 仕　様 |
|---|---|
| 推奨ディスク | CD-R：TDK 製、太陽誘電製、三菱化学メディア製、日立マクセル製、<br>CD-RW：ソニー製、リコー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製<br>Hi Speed CD-RW：三菱化学メディア製、日立マクセル製<br>Ultra Speed CD-RW：三菱化学メディア製<br>DVD-R(4 倍速 )：太陽誘電製、三菱化学メディア製、日立マクセル製<br>DVD-R(8 倍速 )：太陽誘電製、TDK 製、ソニー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製<br>DVD-R(16 倍速 )：太陽誘電製、ソニー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製<br>DVD-RW(2 倍速 )：日本ビクター製、TDK 製、三菱化学メディア製、日立マクセル製<br>DVD-RW(4 倍速 )：日本ビクター製、三菱化学メディア製、日立マクセル製<br>DVD-RW(6 倍速 )：三菱化学メディア製<br>DVD-R DL(4 倍速 )：三菱化学メディア製<br>DVD-R DL(8 倍速 )：三菱化学メディア製<br>DVD-RAM(3 倍速 )：松下電器産業製、日立マクセル製<br>DVD-RAM(5 倍速 )：日立マクセル製<br>DVD+R(4 倍速 )：TDK 製、太陽誘電製、ソニー製、リコー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製<br>DVD+R(8 倍速 )：TDK 製、太陽誘電製、ソニー製、リコー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製<br>DVD+R(16 倍速 )：TDK 製、太陽誘電製、ソニー製、リコー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製<br>DVD+R DL(2.4 倍速 )：リコー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製<br>DVD+R DL(8 倍速 )：リコー製、三菱化学メディア製<br>DVD+RW(2.4 倍速 )：TDK 製、リコー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製<br>DVD+RW(4 倍速 )：TDK 製、リコー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製<br>DVD+RW(8 倍速 )：リコー製、日立マクセル製 |

＊： ディスクの回転率が大きい場合や高速での読み込みが困難な場合は、自動で回転率を落とします。

**重 要**

- 推奨ディスク以外を使用される場合、正しく動作しないことがあります。
- 使用するディスクによって、専用ソフトが必要です。
- ディスクをドライブに入れた直後に“Not Ready”などの準備ができていないことを示すエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、ディスクアクセスランプが消灯するまでお待ちください。
- カートリッジ式のディスクは、カートリッジから取り外した状態でのみ使用可能です。
- CD/DVD ディスクは、追加で書き込みをすると、書き込んだドライブ以外では正常に読み込めない場合があります。
- ドライブには、次のものを絶対に入れないでください。ディスクを取り出せなくなったり、ドライブやディスクが破損する原因になります。
  - ・名刺型ディスクやハート型などの異形ディスク
  - ・ 8 cm 小径ディスク ( 付属の 8 cmディスクアダプター使用時を除く )
  - ・“DVD Slim disc”などの規格外ディスク
  - ・コイン、クリップなどの金属物や液体など、ディスク以外の異物
- このパソコンで作成した CD/DVD ディスクは、他のパソコンやプレーヤーでは読み込めない場合があります。
- 本ドライブで、DVD ± R DL の媒体へデータを記録し、DVD ± R DL 未対応のドライブで読み込むと、DVD-ROM として認識されます。
- DVD+R DL の媒体へデータを追記し、DVD+R DL 未対応のドライブで読み込むと、追記したデータが読み込めないことがあります。
- DVD-R DL は、追記書き込みはできません。

**ヒント**

- DVD+R DL、DVD-R DL とは、片面 2 層 (8.5GB) のディスクです。
- このパソコンでは、データ転送速度 (I/F) 最大 33MB/Sec になります。

本ドライブで 8cm ディスクをアダプターに装着して再生する場合は、次の仕様になります 。

| 項　目 | 仕　様 |
| --- | --- |
| 読み込み速度 *1 | CD-ROM/R/RW：最大 2 倍速<br>DVD-ROM/R：最大 2 倍速<br>DVD-RW: 最大 2 倍速<br>DVD-RAM：最大 2 倍速 |
| 推奨ディスク | CD-R：ソニー製、太陽誘電製、TDK 製、日立マクセル製<br>CD-RW：三菱化学メディア製、リコー製、TDK 製、日立マクセル製<br>DVD-R(2 倍速 )：日立マクセル製<br>DVD-RW(2 倍速 )：日立マクセル製<br>DVD-RAM(2 倍速 )：日立マクセル製 |

＊　1： ディスクの回転率が大きい場合や高速での読み込みが困難な場合は、自動で回転率を落とします。

重要
- 8cm ディスクアダプターは再生専用です。書き込みに使用することはできません。
- 推奨ディスク以外のディスクを使用すると、エラーが発生することがあります。

# メモリーボードの仕様

| 項　　目 | 仕　　　　様 |
|---|---|
| 容量 | 512MB ／ 1024MB |
| | パリティーなし |
| 外形寸法 | 約 133 ㎜ (W)X32 ㎜ (D) |
| DRAM タイプ | DDR2 SDRAM PC2-4200 |
| DIMM タイプ | 240 ピン |
| 電圧値 | 1.8V ± 0.1V |

ヒント
● メモリーボードの使用環境はパソコンと同じです。

# 有寿命部品一覧

パソコンの部品は、長期間使用しているうちに劣化、磨耗します。
次の部品は、一定周期で交換の必要があります。
ここで記載の寿命とは設計構造上の想定寿命であり、寿命を保証するものではありません。想定寿命を満たさない場合でも、無償修理期間を過ぎている場合の部品代は有償です。
購入や交換については、お買い求め先にご連絡ください。
なお、交換した部品は、パソコン購入時の部品と、仕様が異なる場合があります。

| 品名 | 備考 |
|---|---|
| ワイヤレスキーボード | ＊1 |
| ワイヤレスマウス | |
| ハードディスクユニット | |
| リモコン | |
| テレビチューナーボード | ＊1、2 |
| メインボード | |
| 電源ユニット | |
| 液晶ディスプレイ | ＊1、5 |
| DVD スーパーマルチドライブ | ＊3 |
| リチウム電池（パソコン本体用） | ＊4 |

＊1：事務室で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合、寿命は約5年です。
　　したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
＊2：使用しているアルミ電解コンデンサーは寿命のある部品です。
＊3：事務室で1日に1時間20分、1ヶ月で25日間、データの読み書きを想定した場合、
　　寿命は約5年です。したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
＊4：寿命は約5年です。
＊5：明るさが工場出荷時の約1/2に低下したときを寿命とします。

# オプション情報

パソコンに増設または接続できるオプションを次に示します。

| 分 類 | 品 名 | 形 名 | 仕 様 |
|---|---|---|---|
| ファイル装置 | フロッピーディスク装置 | PCT-UF2231A | USB インタフェース、3.5 型、3 モード＊ |
| | | PCT-UF2231B | |

＊： Windows Vista では 2 モードでの利用となります。

● この一覧以外のオプションは動作保証していません。

# さくいん

B
B-CAS カード 18, 19, 47
B-CAS カードスロット 22

C
CATV 45
[CONNECT] ボタン 26

D
DVD スーパーマルチドライブの仕様 60

F
FAX モデムコネクター 22
[FF] キー 23
FG 端子 22

I
[INTERNET] キー 23
[INVISIBLE OPTIC] ランプ 26

L
LAN コネクター 22

M
[MAIL] キー 23
[MUTE] キー 23

O
[ON/OFF] ボタン 26

P
[P1] キー 23
[P2] キー 23
[Play&Pause] キー 23
[POWER] キー 23

R
[Rew] キー 23

S
[Stop] キー 23
S 映像入力端子 (4 ピン) 22

U
UHF 44
USB コネクター 22

V
VHF 44

W
[Windows] キー 25

あ
アース線 18, 19

い
インターネット 42

う
上書きモード 24

お
オプション情報 65

き
キャプスロックランプ 24

こ
コンセント 31
コンポジット映像入力端子 22

す
スクロールロックランプ 24

せ
接続 35

そ
挿入モード 24

た
タイマー設定ランプ 21
タブ 24

ち
地上アナログテレビアンテナ入力端子 22
地上アナログテレビチューナーボード 22
地上デジタルテレビアンテナ入力端子 22
地上デジタルテレビチューナーボード 22

て
ディスクアクセスランプ 21
ディスクの入れ方 / 取り出し方 52
テレビ 44

電源コード 18, 19
電源ランプ 20, 21
電源を入れる 37
電子マニュアル 1
伝送方式 46
電話回線 48

## な

ナムロックランプ 23

## は

パソコン 18, 19
8 cmディスクアダプター 18, 19

## ひ

ビデオ音声入力端子 ( 左 ) 22
ビデオ音声入力端子 ( 右 ) 22

## ふ

ファンクションキー 24
［プログラム］キー 25

## へ

ページをスクロールする 25
ヘッドホンアウト端子 20

## ほ

保証書 4, 19
ボタン 26

## ま

マイクイン端子 22
マウスポインター 39

## め

メモリースロット 20
メモリーボード 56
メモリーボードソケット 56
メモリーボードの仕様 63

## も

モジュラーケーブル 42
モジュラーコンセント 42
モデム 42

## ゆ

有寿命部品一覧 64

## ら

ラインアウト端子 22
ラインイン端子 22

## り

リモコン 18, 19
リモコン（Windows Vista Home Basic 用）28
リモコン（Windows Vista Home Premium 用）27

## わ

ワイヤレスキーボード 18, 19
ワイヤレスマウス 18, 19
ワイヤレスマウス電池残容量ランプ 26

## 他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。
それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
・その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

# Prius 取扱説明書 設置と配線編

初　版　2006 年 12 月



落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社　日立製作所
ユビキタスシステム事業部
〒 244-0817　神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地
お問い合わせ先：安心コールセンター　0120-885-596



このマニュアルは、再生紙を使用しています。

AW0T010P0-1